

1:1 初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。

ことば = ◀ 3056. logos (ロゴス) 331 回 ▶ 言葉、声明、演説、理由、

マタイ 5:32 しかし、わたしはあなたがたに言います。だれでも、淫らな行い以外の理由で自分の妻を離縁する者は、妻に姦淫を犯させることになります。また、離縁された女と結婚すれば、姦淫を犯すことになるのです。

マタイ 5:37 あなたがたの言うことばは、『はい』は『はい』、『いいえ』は『いいえ』としなさい。それ以上のことは悪い者から出ているのです。

マタ 7:24 ですから、わたしのこれらのことばを聞いて、それを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人にたとえることができます。

マタイ 12:36 わたしはあなたがたに言います。人は、口にするあらゆる無益なことばについて、さばきの日に申し開き (account・英訳) をしなければなりません。

マタ 15:12 そのとき、弟子たちが近寄って来てイエスに言った。「パリサイ人たちがおことばを聞いて腹を立てたのをご存じですか。」

マタ 18:23 ですから、天の御国は、王である一人の人にたとえることができます。その人は自分の家来たちと清算をしたいと思った。

1:2 この方は、初めに神とともにおられた。

1:3 すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもなかった。

@ (世) 彼を離れて存在するようになったものは1つも無い

@ (イザヤ 44:24) あなたを贖い、あなたを母の胎内にいる時から形造った方、主はこう仰せられる。「わたしは万物を造った主だ。わたしはひとりで天を張り延ばし、ただ、わたしだけで、地を押し広げた。

1:4 この方にはいのちがあった。このいのちは人の光であった。

1:12 しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとなる特権をお与えになった。

@特権＝賜物を伴った特権

1:13 この人々は、血によってではなく、肉の望むところでも人の意志によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。

肉の望むところ = will of flesh

肉の望むところでも人の意志 = (改2)肉の欲求や人の意欲

肉 = ◀ 4561. sarx (サルクス) 149回 ▶ 体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

ヨハネ 8:44 あなたがたは、悪魔である父から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと思っています。悪魔は初めから人殺しで、真理に立っていません。彼のうちには真理がないからです。悪魔は、偽りを言うとき、自分の本性から話します。なぜなら彼は偽

り者、また偽りの父だからです。

1 ヨハネ 3:10 このことによって、神の子どもと悪魔の子どもの区別がはっきりします。義を行わない者はだれであれ、神から出た者ではありません。兄弟を愛さない者もそうです。

ローマ 8:14 神の御霊に導かれる人はみな、神の子どもです。

1:14 ことばは人[□]となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。★

人 = ◀ 4561. sarx (サルクス) 149 回 ▶ 体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

住まわれた = 「幕屋を張る」 黙示録 7:15

住まわれた = ◀ 4637. skénoó (スケナオ) 5 回 (V) ▶ 天幕を張る, dwell as in a tent, encamp, have my tabernacle

ヨハネ 1:14 は原語を直訳すると「そして言葉(イエス)は生きた人となって、私達人の間に幕屋(仮庵)を張られた」となります。

実は、主イエスは仮庵祭初日に生まれ、8日目の聖なる日(レビ 23:36,民 29:35)(現在は律法歓喜祭(=神の言葉イエスを喜ぶ日))に割礼を受けたのです。

ヨハネ 1:14 ことばは人[□]となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。

黙 7:15 それゆえ、彼らは神の御座の前にあって、昼も夜もその神殿で神に仕えている。御座に着いておられる方も、彼らの上に**幕屋を張られる**。

黙 12:12 それゆえ、天とそこに**住む**者たちよ、喜べ。しかし、地と海はわざわざいだ。悪魔が自分の時が短いことを知って激しく憤り、おまえたちのところへ下ったからだ。」

黙 13:6 獣は神を冒瀆するために口を開いて、神の御名と神の幕屋、また天に**住む**者たちを冒瀆した。

黙 21:3 私はまた、大きな声が御座から出て、こう言うのを聞いた。「見よ、神の**幕屋**が人々とともにある。神は人々とともに**住み**、人々は神の民となる。神ご自身が彼らの神として、ともにおられる。

(参考) 幕屋と訳された言葉

- ◀ 4633. skéné 20 回 (N)▶ 仮庵と訳されたのは使徒 15:16 でこの言葉だけ
- ◀ 4636. skénos 2 回 (N)▶ 第 2 コリント 5:1、5:4
- ◀ 4638. skénóma 3 回 (N)▶ 使徒 7:46、第 2 ペテロ 1:3、1:4
- ◀ 4634. skénopégia 1 回 (N)▶ 旧約の仮庵。 ヨハ 7:2 時に、仮庵の祭りというユダヤ人の祭りが近づいていた。
- ◀ 4637. skénoó 5 回 (V)▶ 天幕を張る、ヨハネ 1:14、その他黙示録に 4 回

@レビ 23:35 最初の日には、聖なる会合を開く。あなたがたは、いかなる労働もしてはならない。

2 コリント 5:1 たとえ私たちの地上の住まいである**幕屋**が壊れても、私たちには天に、神が下さる建物、人の手によらない永遠の住まいが

あることを、私たちは知っています。

幕屋=◀ 4636. skénos (スケナス) 2回▶幕屋、テント、比ゆとしての人の体(2コリ 5:1, 5:4)

5:2 私たちはこの幕屋にあつてうめき、天から与えられる住まいを着たいと切望しています。

5:3 その幕屋を脱いだとしても、私たちは裸の状態であることはありません。

@ (ギ) では、幕屋という単語は出てこない。訳出の問題。

5:4 確かにこの幕屋のうちにいる間、私たちは重荷を負ってうめいています。それは、この幕屋を脱ぎたいからではありません。死ぬだけのものが、いのちによって呑み込まれるために、天からの住まいを上に着たいからです。

幕屋=◀ 4636. skénos (スケナス) 2回▶幕屋、テント、比ゆとしての人の体(2コリ 5:1, 5:4)

2ペテロ 1:13 それを思い起こさせて、あなたがたを奮い立たせることを、私は地上の幕屋にいるかぎり、なすべきだと思っています。

1:14 私たちの主イエス・キリストが示してくださったように、私はこの幕屋を間もなく脱ぎ捨てることを知っています。

1:16 私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。

@恵みの上の恵みとは、民が一方的に律法を拒否したにもかかわらず、主は再

び石の板をモーセに与えた (出 34:1)

1:17 律法はモーセによって与えられ、恵みとまことはイエス・キリストによって実現したからである。

まこと = ◀ 225. alétheia 109 回 ▶ 真実

1:18 いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである。

父のふところにおられるひとり子の神 =

(KJV) the only begotten Son, which is in the bosom of the Father (TR)
huiois 5207

(NAS) the only begotten God who is in the bosom of the Father,
(RVS) Theos 2316

the only begotten = 一人子を意味する

1:23 ヨハネは言った。「私は、預言者イザヤが言った、『主の道をまっすぐにせよ、と荒野で叫ぶ者の声』です。」

@すごい宣言

1:25 彼らはヨハネに尋ねた。「キリストでもなく、エリヤでもなく、あの預言者でもないなら、なぜ、あなたはバプテスマを授けているのですか。」

@にもかかわらず頓珍漢な答えをしている。

1:29 その翌日、ヨハネは自分の方にイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の子羊。」

1:33 私自身もこの方を知りませんでした。しかし、水でバプテスマを授けるようにと私を遣わした方が、私に言われました。『御霊が、ある人の上に降って、その上にとどまるのをあなたが見たら、その人こそ、聖霊によってバプテスマを授ける者である。』

@いどこであったのに、神の子であったことを知らなかった。

知る = ◀ 1492. eidó (アイド) 319 回 ▶ 見る、感じる、発見する、試す、知る、気に留める

1:34 私はそれを見ました。それで、この方が神の子であると証しをしているのです。」

1:35 その翌日、ヨハネは再び二人の弟子とともに立っていた。

1:36 そしてイエスが歩いて行かれるのを見て、「見よ、神の子羊」と言った。

1:37 二人の弟子は、彼がそう言うのを聞いて、イエスについて行った。

@つねづねヨハネから来るべき方について聞かされていたのですぐに行動できた。

1:38 イエスは振り向いて、彼らがついて来るのを見て言われた。「あなたがたは何を求めているのですか。」彼らは言った。「ラビ (訳すと、先生)、どこにお泊まりですか。」

1:39 イエスは彼らに言われた。「来なさい。そうすれば分かります。」そこで、彼らについて行って、イエスが泊まっておられるところを見た。そしてその日、イエスのもとにとどまった。時はおよそ第十の時であった。

@弟子達はキリストの日常生活をみて彼を霊的に信頼した。

1:42 彼はシモンをイエスのもとに連れて来た。イエスはシモンを見つめて言われた。「あなたはヨハネの子シモンです。あなたはケファ（言い換えれば、ペテロ）と呼ばれます。」

ケファ=◀ 2786. Képhas (ケファース) 9回▶アラム語から来た (BLB)石、(HUB)岩

ペテロ=◀ 4074. Petros (ペトラス) 156回▶ (Hub)石、ペテロ(使徒)、(BLB)岩 or 石、ペテロ(使徒)

(参考) ◀ 4073. petra (ペトラ) 15回▶(Hub)大きな岩、がけ、岩地、(BLB)岩、大きな石、岩地

(KJV) thou shalt be called Cephas, which is by interpretation, A stone.

あなたをケファースと呼びます。その意味は石です。

マタイ 16:18 ではわたしもあなたに言います。あなたはペテロです。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。ハデスの門もそれには打ち勝てません。

ペテロ=◀ 4074. Petros (ペトラス) 156回▶ (Hub)石、ペテロ(使徒)、(BLB)岩 or 石、ペテロ(使徒)

(参考) ◀ 4073. petra (ペトラ) 15回▶(Hub)大きな岩、がけ、岩地、(BLB)岩、大きな石、岩地

1:45 彼はナタナエルを見つけて言った。「私たちは、モーセが律法の中に書き、預言者たちも書いている方に会いました。ナザレの人で、ヨセフの子イエスです。」

1:49 ナタナエルは答えた。「先生。あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です。」

@神の子= (Hub) 定冠詞つき、(BLB)定冠詞なし

1:51 そして言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。天が開けて、神の御使いたちが人の子の上を上り下りするのを、あなたがたはいまに見ます。」

2:4 すると、イエスは母に言われた。「女の方、あなたはわたしと何の関係がありますか。わたしの時はまだ来ていません。」

@あなた方の時=(ヨハネ 7:6 そこで、イエスは彼らに言われた。「わたしの時はまだ来ていません。しかし、あなたがたの時はいつでも用意ができています。」

2:5 母は給仕の者たちに言った。「あの方が言われることは、何でもしてください。」

@しかし、マリアはイエスの時が来ているのを知っていた。だから信仰によって準備した。

2:9 宴会の世話役は、すでにぶどう酒になっていたその水を味見した。汲んだ給仕の者たちはそれがどこから来たのかを知っていたが、世話役は知らなかった。それで、花婿を呼んで、

2:10 こう言った。「みな、初めに良いぶどう酒を出して、酔いが回ったところに悪いのを出すものだが、あなたは良いぶどう酒を今まで取っておきました。」

@①回目の奇跡

@喜びのぶどう酒= (詩 104:15 ぶどう酒は人の心を喜ばせパンは人の心を支えます。油よりも顔をつややかにするために。

@ぶどう酒を移す (エレ48 : 11)

2:14 そして、宮の中で、牛や羊や鳩を売っている者たちと、座って両替をしている者たちを見て、

宮 = ◀ 2411. hieron (ヒエラン) 71 回 ▶ 中庭を含む神殿

2:15 細縄でむちを作って、羊も牛もみな宮から追い出し、両替人の金を散らして、その台を倒し、

2:16 鳩を売っている者たちに言われた。「それをここから持って行け。わたしの父の家を商売の家にはならない。」

@神の怒り

使徒 13:10 こう言った。「ああ、あらゆる偽りとあらゆる悪事に満ちた者、悪魔の子、すべての正義の敵、おまえは、主のまっすぐな道を曲げることをやめないのか。

1サム 11:6 サウルがこれらのことばを聞いたとき、神の霊がサウルの上に激しく下った。彼の怒りは激しく燃え上がった。

ローマ 1:18 というのは、不義によって真理を阻んでいる人々のあらゆる不敬虔と不義に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。

@悪を憎め = (詩 97:10 【主】を愛する者たちよ。悪を憎め。主は主にある敬虔な者たちのたましいを守り悪者どもの手から彼らを救い出される。

2:19 イエスは彼らに答えられた。「この神殿を壊してみなさい。わたしは、三日でそれをよみがえらせる。」

よみがえらせる = ◀ 1453. egeiró (エガイロ) 144 回 ▶ 起きる(マタ 1:24)、立ち上がる(マタ 2:13)、立つ(マタ 12:42)

よみがえる(マタ 14:2)(ルカ 24:6)、生き返った(マタ 27:52)

よみがえらせる = (改 2) 「建てよう」

2:20 そこで、ユダヤ人たちは言った。「この神殿は建てるのに四十六年かかった。あなたはそれを三日でよみがえらせるのか。」

建てる = ◀ 3618. oikodomeó (アイカダメオ) 41 回 ▶ 建てる、確立させる、(人を)建て上げる(1 コリ 14:4,17)

3:3 イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに言います。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」

@新しく生まれる必要がある

3:5 イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに言います。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。

@水=一般的な誕生、御霊=御霊による新生

第1 ヨハネ 5:8 御霊と水と血です。この三つは一致しています。

@水=み言葉

ヨハネ 15:3 あなたがたは、わたしがあなたがたに話したことばによって、すでにきよいのです。

エペソ 5:26 キリストがそうされたのは、**みことば**により、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、

エゼキエル 5:26 キリストがそうされたのは、**みことば**により、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、

3:8 風は思いのままに吹きます。その音を聞いても、それがどこから来てどこへ行くのか分かりません。御霊によって生まれた者もみな、それと同じです。」

@神は遍在されるが臨在は別。空気はどこにでもあるが風は別である。

3:12 わたしはあなたがたに地上のことを話しましたが、あなたがたは信じません。それなら、天上のことを話して、どうして信じるのでしょうか。

@地上のこと＝風や水について

3:13 だれも天に上った者はいません。しかし、天から下って来た者、**人の子**は別です。

人の子=(TR)天にいる人の子

(NAS) but He who descended from heaven: the Son of Man.

(KJV) but he that came down from heaven, even the Son of man which is in heaven.

3:14 モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければなりません。

3:15 それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。」

3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

第1ヨハネ 3:16 キリストは私たちのために、ご自分のいのちを捨ててくれました。それによって私たちに愛が分かったのです。ですから、私たちも兄弟のために、いのちを捨てるべきです。

愛する = ◀ 25. agapao (アガパオ) 143回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

3:17 神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。

3:18 御子を信じる者はさばかれない。信じない者はすでにさばかれている。神のひとり子の名を信じなかったからである。

3:19 そのさばきとは、光が世に来ているのに、自分の行いが悪いために、人々が光よりも闇を愛したことである。

愛する = ◀ 25. agapao (アガパオ) 143回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

@ (エペソ 5:11) 実を結ばない暗やみのわざに仲間入りしないで、むしろ、それを明るみに出さない。

3:20 悪を行う者はみな、光を憎み、その行いが明るみに出されることを恐れて、光の方に来ない。

3:21 しかし、真理を行う者は、その行いが神にあってなされたことが明らかになるように、光の方に来る。

3:30 あの方は盛んになり、私は衰えなければなりません。」

@キリストは私達の為に衰えてくださった。

3:31 上から来られる方は、すべてのものの上におられる。地から出る者は地に属し、地のことを話す。天から来られる方は、すべてのものの上におられる。

3:32 この方は見たこと、聞いたことを証しされるが、だれもその証しを受け入れない。

3:33 その証しを受け入れた者は、神が真実であると認める印を押したのである。

3:34 神が遣わした方は、神のことばを語られる。神が御霊を限りなくお与えになるからである。

@御霊を限りなくお与えになる=(ギ) 御霊を量って与えない

@ (共) 3:34 神がお遣わしになった方は、神の言葉を話される。神が“霊”を限りなくお与えになるからである。

@ (エゼキエル 47:3-)、、、一千キュビトを測り、私にその水を渡らせると、それは足首までであった。

3:35 父は御子を愛しておられ、その手にすべてをお与えになった。

愛する= ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

3:36 御子を信じる者は永遠のいのちを持っているが、御子に聞き従わない者はいのちを見ることがなく、神の怒りがその上にとどまる。

@ (1 ヨハネ 5:12 御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子を持たない者はいのちを持っていません。

4:2 ——バプテスマを授けていたのはイエスご自身ではなく、弟子たちであったのだが——

@イエスはさずけていなかった。

4:3 ユダヤを去って、再びガリラヤへ向かわれた。

4:4 しかし、サマリアを通って行かなければならなかった。

@たましいのひつようはイエス様の必要

4:5 それでイエスは、ヤコブがその子ヨセフに与えた地所に近い、スカルというサマリアの町に来られた。

4:6 そこにはヤコブの井戸があった。イエスは旅の疲れから、その井戸の傍らに、ただ座っておられた。時はおよそ第六の時であった。

第六の時＝正午ぐらい

@普通は朝早く来るが、人目をさけていたのであろう。

4:13 イエスは答えられた。「この水を飲む人はみな、また渴きます。

4:14 しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことはありません。わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。」

ヨハネ 7:37 さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立ち上がり、大きな声で言われた。「だれでも渴いているなら、わたしのものに来て飲みなさい。

ヨハネ 7:38 わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになります。」

4:19 彼女は言った。「主よ。あなたは預言者だとお見受けします。

@これ以下8か所はすべて ◀ 4352. proskuneó (プロスクネーオ) 60回▶ (一般的な礼拝を意味する単語) 敬意を払う、(畏敬をもって手に)キスする、ひざまづく、礼拝する

@ただし、4章23節の「礼拝者」だけは名詞一文字の ◀ 4353. proskunétés (プロスクテネース) 1回▶

この単語は聖書に1回しか登場しない。

4:20 私たちの先祖はこの山で礼拝しましたが、あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムにあると言っています。」

4:21 イエスは彼女に言われた。「女の人よ、わたしを信じなさい。この山でもなく、エルサレムでもないところで、あなたがたが父を礼拝する時が来ます。

@この山=ゲリジム山

(申 27:12 あなたがたがヨルダンを渡ったとき、次の者たちは民を祝福するために、ゲリジム山に立たなければならない。シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ヨセフ、ベニヤミン。

@彼らは祝福には目を留めるが神には従いたくない。

@契約の箱に目を留めなくなる。

(エレ 3:16) その日、あなたがたが国中にふえて多くなるとき、・・主の御告げ。・・彼らはもう、主の契約の箱について何も言わず、心にも留めず、思い出しもせず、調べもせず、再び作ろうともしない。

4:22 救いはユダヤ人から出るのですから、わたしたちは知って礼拝していますが、あなたがたは知らないで礼拝しています。

4:23 しかし、まことの礼拝者たちが、御霊と真理によって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はそのような人たちを、ご自分を礼拝する者として求めておられるのです。

礼拝者 = ◀ 4353. proskunétés (プロスクテネース) 1回 ▶ 礼拝者

4:24 神は霊ですから、神を礼拝する人は、御霊と真理によって礼拝しなければなりません。」

まことの礼拝者 = the true worshipers

御霊 × = 霊 ○ = ◀ 4151. pneuma (ニューマ、p は発音しないようだ) 383回 ▶ 風、霊

@(改 2) 霊とまこと (こちらのほうが正しそう) pneumatī kai aletheia

御霊と訳されている言葉 pneumatī は定冠詞なし。

マタ 5章3節の「心の貧しい者」の心、正しくは「霊の貧しいもの」とまったく同じ単語

真理と訳されている ◀ 225. alétheia 109回 ▶ 真実、誠実、素直さ、道徳的真実

(訳例)

そのとおり＝マル 12:32・・・そのほかに主はいない、とあなたが言われたことは、まさにそのとおりです。

確かに＝ルカ 22:59・・・「確かにこの人も彼と一緒にだった。ガリラヤ人だから。」

ピリ 3:3 神の御霊によって礼拝し、キリスト・イエスを誇り、肉に頼らない私たちこそ、割礼の者なのです。

4:34 イエスは彼らに言われた。「わたしの食べ物とは、わたしを遣わされた方のみこころを行い、そのわざを成し遂げることです。

4:35 あなたがたは、『まだ四か月あって、それから刈り入れだ』と言ってはいませんか。しかし、あなたがたに言います。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。

4:36 すでに、刈る者は報酬を受け、永遠のいのちに至る実を集めています。それは蒔く者と刈る者がともに喜ぶためです。

4:37 ですから、『一人が種を蒔き、ほかの者が刈り入れる』ということばはまことです。

4:38 わたしはあなたがたを、自分たちが労苦したのでないものを刈り入れるために遣わしました。ほかの者たちが労苦し、あなたがたがその労苦の実にあずかっているのです。」

4:39 さて、その町の多くのサマリア人が、「あの方は、私がしたことをすべて私に話した」と証言した女のことばによって、イエスを信じた。」

@知識の賜物＝収穫をもたらす。

4:40 それで、サマリア人たちはイエスのところに来て、自分たちのところに

滞在してほしいと願った。そこでイエスは、二日間そこに滞在された。

4:41 そして、さらに多くの人々が、イエスのことばによって信じた。

4:42 彼らはその女に言った。「もう私たちは、あなたが話したことによって信じているのではありません。自分で聞いて、この方が本当に世の救い主だと分かったのです。」

4:47 この人は、イエスがユダヤからガリラヤに来られたと聞いて、イエスのところに行った。そして、下って来て息子を癒やしてくださるように願った。息子が死にかかっていたのである。

癒やして=◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27回▶ (肉体を)癒す (救いという意味はない)

4:50 イエスは彼に言われた。「行きなさい。あなたの息子は治ります。」その人はイエスが語ったことばを信じて、帰って行った。

ことば=◀ 3056. logos (ロゴス) 331回▶言葉、声明、analogy

聖霊派に見られるロゴス、レーマの解釈によれば、この言葉はキリストの口から出た預言的な言葉なのでレーマであるべきなのに使用されているのは「ロゴス」です。つまり、その理論が間違っていることを意味します。

第1コリント 12:8 ある人には御霊を通して知恵のことばが、ある人には同じ御霊によって知識のことばが与えられています。

4:51 彼が下って行く途中、しもべたちが彼を迎えに来て、彼の息子が治ったことを告げた。

4:52 子どもが良くなった時刻を尋ねると、彼らは「昨日の第七の時に熱がひ

きました」と言った。

4:53 父親は、その時刻が、「あなたの息子は治る」とイエスが言われた時刻だと知り、彼自身も家の者たちもみな信じた。

4:54 イエスはユダヤを去ってガリラヤに来てから、これを第二のしるしとして行われた。

@ 2回目の奇跡

5:2 エルサレムには、羊の門の近くに、ヘブル語でベテスダと呼ばれる池があり、五つの回廊がついていた。

ベテスダ = (へ)「憐みの家」or「流れる水」の意味

5:3 その中には、病人、目の見えない人、足の不自由な人、からだに麻痺のある人たちが大勢、横になっていた。

横になっていた = ◀ 2621. katakeimai (カタカマイ) 12回 ▶ (大)横になる、寝ている、(小)食卓に着く

5:4 (NIV)、(ESV)English Standard Version、(TEV) Today's English Version 以外のすべての英語主要訳は(NASを含めて)4節が存在するのに、なぜか、新改訳(改2、改4)と新共同訳は4節がない。口語訳にはある。

【本節欠如】主の使いが時々この池に降りてきて、水を動かすのであるが、水が動かされたあとで最初に入ったものは、どんなびょうきにかかっているものでもいやされたからである。」

5:5 そこに、三十八年も病気にかかっている人がいた。

5:6 イエスは彼が横になっているのを見て、すでに長い間そうしていることを

知ると、彼に言われた。「良くなりたいか。」

横になっている = ◀ 2621. katakeimai (カタカマイ) 12回 ▶ (大)横になる、寝ている、(小)食卓に着く

5:7 病人は答えた。「主よ。水がかき回されたとき、池の中に入れてくれる人がいません。行きかけると、ほかの人が先に下りて行きます。」

@イエスはよくなりたいか?」と聞いているのに、彼は自分の固定概念しか頭がない。

@自分がイメージしていること以外には思い浮かばない

5:8 イエスは彼に言われた。「起きて床を取り上げ、歩きなさい。」

5:9 すると、すぐにその人は治って、床を取り上げて歩き出した。ところが、その日は安息日であった。

@ 3回目の奇跡

5:10 そこでユダヤ人たちは、その癒やされた人に、「今日は安息日だ。床を取り上げることは許されていない」と言った。

癒やされ = ◀ 2323. therapeuó (セラプオ) 43回 ▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える (Acts 17:25)

5:13 しかし、癒やされた人は、それがだれであるかを知らなかった。群衆がそこにいる間に、イエスは立ち去られたからである。

癒やされ = ◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27回 ▶ (肉体を) 癒す (救いという意味はない)

5:17 イエスは彼らに答えられた。「わたしの父は今に至るまで働いておられ

ます。それでわたしも働いているのです。」

5:18 そのためユダヤ人たちは、ますますイエスを殺そうとするようになった。イエスが安息日を破っていただけでなく、神をご自分の父と呼び、ご自分を神と等しくされたからである。

ご自分を神と等しくされた=@日本語訳では良くわからないが、17節の言葉は「ご自身を神と等しくする」言葉であった。

5:19 イエスは彼らに答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。子は、父がしておられることを見て行う以外には、自分から何も行うことはできません。すべて父がなさることを、子も同様に行うのです。

5:20 それは、父が子を愛し、ご自分がすることをすべて、子にお示しになるからです。また、これよりも大きなわざを子にお示しになるので、あなたがたは驚くことになります。

愛する=◀ 5368. phileó (フィレオ) 25回 ▶愛する、愛情を持った気づかい、大切にする、キスする

5:21 父が死人をよみがえらせ、いのちを与えられるように、子もまた、与えたいと思う者にいのちを与えます。

@父と子の同一性

5:22 また、父はだれをもさばかず、すべてのさばきを子に委ねられました。

5:23 それは、すべての人が、父を敬うのと同じように、子を敬うようになるためです。子を敬わない者は、子を遣わされた父も敬いません。

5:24 まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきにあうことがなく、死からいのちに移っています。

5:25 まことに、まことに、あなたがたに言います。死人が神の子の声を聞く時が来ます。今がその時です。それを聞く者は生きます。

5:26 それは、父がご自分のうちにいのちを持っておられるように、子にも、自分のうちにいのちを持つようにしてくださったからです。

5:27 また父は、さばきを行う権威を子に与えてくださいました。子は人の子だからです。

5:28 このことに驚いてはなりません。墓の中にいる者がみな、子の声を聞く時が来るのです。

5:29 そのとき、善を行った者はよみがえっていのちを受けるために、悪を行った者はよみがえってさばきを受けるために出て来ます。

5:30 わたしは、自分からは何も行うことができません。ただ聞いたとおりにさばきます。そして、わたしのさばきは正しいのです。わたしは自分の意志ではなく、わたしを遣わされた方のみこころを求めるからです。

5:31 もしわたし自身について証しをするのがわたしだけなら、わたしの証言は真実ではありません。

5:33 あなたがたはヨハネのところに人を遣わしました。そして彼は真理について証ししました。

5:35 ヨハネは燃えて輝くともしびであり、あなたがたはしばらくの間、その

光の中で大いに喜ぼうとしました。

大いに喜ぼうと = ◀ 21. agalliaó (アガリアオ) 11 回 ▶ 歓喜にあふれて喜ぶ

マタ 5:12 喜びなさい。大いに喜びなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのですから。あなたがたより前にいた預言者たちを、人々は同じように迫害したのです。

ルカ 1:47 私の霊は私の救い主である神をたたえます。

10:21 ちょうどそのとき、イエスは聖霊によって喜びにあふれて言われた。「天地の主であられる父よ、あなたをほめたたえます。あなたはこれらのことを、知恵ある者や賢い者には隠して、幼子たちに現してくださいました。そうです、父よ、これはみこころにかなったことでした。

ヨハ 5:35 ヨハネは燃えて輝くともしびであり、あなたがたはしばらくの間、その光の中で大いに喜ぼうとしました。

ヨハ 8:56 あなたがたの父アブラハムは、わたしの日を見るようになることを、大いに喜んでいました。そして、それを見て、喜んだのです。」

使 2:26 それゆえ、私の心は喜び、私の舌は喜びにあふれます。私の身も、望みの中に住まいます。

使 16:34 それから二人を家に案内して、食事のもてなしをし、神を信じたことを全家族とともに心から喜んだ。

第1ペテ 1:6 そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいます。

今しばらくの間、様々な試練の中で悲しまなければならないのですが、

第1 ペテ 1:8 あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、今見てはいないけれども信じており、ことばに尽くせない、榮えに満ちた喜びに躍っています。

第1 ペテ 4:13 むしろ、キリストの苦難にあずかればあずかるほど、いっそう喜びなさい。キリストの栄光が現れるときにも、歓喜にあふれて喜ぶためです。

黙 19:7 私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。子羊の婚礼の時が来て、花嫁は用意ができたのだから。

5:36 しかし、わたしにはヨハネの証しよりもすぐれた証しがあります。わたしが成し遂げるようにと父が与えてくださったわがが、すなわち、わたしが行っているわがそのものが、わたしについて、父がわたしを遣わされたことを証ししているのです。

5:37 また、わたしを遣わされた父ご自身が、わたしについて証しをしてくださいました。あなたがたは、まだ一度もその御声を聞いたことも、御姿を見たこともありません。

5:38 また、そのみことばを自分たちのうちにとどめてもいません。父が遣わされた者を信じないからです。

5:39 あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思って、聖書を調べています。その聖書は、わたしについて証ししているものです。

。

@ 5つの証言) 1、イエス自身、 2、ヨハネ 3、御業 4、父、 5、聖書

ヨハ 5:41 わたしは人からの榮譽は受けません。

@内住の御霊によって栄誉を受ける

ヨハ 16:14 御霊はわたしの栄光を現されます。わたしのものを受けて、あなたがたに伝えてくださるのです。

@キリストは人から直接栄誉を受けるのではなく、父から送られた人の内に住む聖霊により栄誉を受ける。

@それは唯一の神からの栄誉を受けることになる (5:44 、唯一の神からの栄誉を求めないあなたがた)

5:42 しかし、わたしは知っています。あなたがたのうちに 神への愛がない ことを。

神への愛がない=(改 2)をはじめ(NAS)(KJV)などの主要英語訳は「神の愛」とされている。(ギ)も同様と思う。

愛=◀ 26. agapé (アガペ) 116回▶ (N) 愛、真の愛

5:44 互いの間では栄誉を受けても、唯一の神からの栄誉を求めないあなたがたが、どうして信じることができるでしょうか。

6:3 イエスは山に登り、弟子たちとともにそこに座られた。

@山の上で養った

エゼ 34:14 わたしは良い牧草地で彼らを養い、イスラエルの高い山々が彼らの牧場となる。彼らはその良い牧場に伏し、イスラエルの山々の肥えた牧草地で養われる。

6:4 ユダヤ人の祭りである過越が近づいていた。

6:5 イエスは目を上げて、大勢の群衆がご自分の方に来るのを見て、ピリポに言われた。「どこからパンを買って来て、この人たちに食べさせようか。」

6:6 イエスがこう言われたのは、ピリポを試すためであり、ご自分が何をしようとしているのかを、知っておられた。

6:7 ピリポはイエスに答えた。「一人ひとりが少しずつ取るにしても、二百デナリのパンでは足りません。」

6:8 弟子の一人、シモン・ペテロの兄弟アンデレがイエスに言った。

6:9 「ここに、大麦のパン五つと、魚二匹を持っている少年がいます。でも、こんなに大勢の人々では、それが何になるでしょう。」

@アンデレ自身に信仰があったわけではないが、解決の一部を担っている。

6:10 イエスは言われた。「人々を座らせなさい。」その場所には草がたくさんあったので、男たちは座った。その数はおよそ五千人であった。

座らせなさい&座った=◀ 377. anapíptó (アナペット) 12回▶ 横たえる、寄りかかる、食卓に着く、座る。ほぼすべて食事の意味

6:11 そうして、イエスはパンを取り、感謝の祈りをささげてから、@座っている人たちに分け与えられた。魚も同じようにして、彼らが望むだけ与えられた。

TRでは@の部分に「弟子たちに分け与え、弟子たちは」がある。

感謝の祈りをささげる=◀ 2168. Eucharistéó(ユハリストエオ) 38回▶ (V) 感謝する

@感謝をささげる (1テサ 5:18) (ピリピ 4:6) (エペソ 5:20)

座っている=◀ 345. anakeimai (アナケマイ)14回▶ 食卓に着く、←の意味で

横になる(ヨハ 13:23)

6:12 彼らが十分食べたとき、イエスは弟子たちに言われた。「一つも無駄にならないように、余ったパン切れを集めなさい。」

6:13 そこで彼らが集めると、大麦のパン五つを食べて余ったパン切れで、十二のかごがいっぱいになった。

@すべてをささげた子供は後に何倍もの報いを受けた。

@

- 1、信仰を試す(6:6) ピリポをためしてこう言われた。
- 2、頭で考えない(6:7) 二百デナリのパンでは足りません。
- 3、小さいものに目を留める(6:9) パンを五つと小さい魚を二匹。
- 4、すべてささげる。
- 5、待ち望む(6:10)。
- 6、すべてに感謝(6:11)。
- 7、奇跡(6:11)。
- 8、無駄にならない(6:12)。
- 9 多く戻ってくる(6:13)。

@ 4回目の奇跡

6:19 そして、二十五ないし三十スタディオンのほど漕ぎ出したころ、弟子たちは、イエスが湖の上を歩いて舟に近づいて来られるのを見て恐れた。

@湖の短幅は約9 km 長幅は約15 km

@ 5回目の奇跡

6:20 しかし、イエスは彼らに言われた。「わたしだ。恐れることはない。」

6:21 それで彼らは、イエスを喜んで舟に迎えた。すると、舟はすぐに目的地に着いた。

6:26 イエスは彼らに答えられた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。あなたがたがわたしを捜しているのは、しるしを見たからではなく、パンを食べて満腹したからです。

まことに= ◀ 281. amén 143 回 ▶ 本当に、(言葉の最後につけて)そうなりますように。

6:27 なくなってしまう食べ物のためではなく、いつまでもなくならない、永遠のいのちに至る食べ物のために働きなさい。それは、人の子が与える食べ物です。この人の子に、神である父が証印を押されたのです。」

6:29 イエスは答えられた。「神が遣わした者をあなたがたが信じること、それが神のわざです。」

6:35 イエスは言われた。「わたしがいのちのパンです。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渴くことはありません。

6:37 父がわたしに与えてくださる者はみな、わたしのもとに来ます。そして、わたしのもとに来る者を、わたしは決して外に追い出したりはしません。

6:38 わたしが天から下って来たのは、自分の思いを行うためではなく、わたしを遣わされた方のみこころを行うためです。

6:39 わたしを遣わされた方のみこころは、わたしに与えてくださったすべての者を、わたしが一人も失うことなく、終わりの日によみがえらせることです。

6:40 わたしの父のみこころは、子を見て信じる者がみな永遠のいのちを持ち、わたしがその人を終わりの日によみがえらせることなのです。」

6:48 わたしはいのちのパンです。

6:49 あなたがたの先祖たちは荒野でマナを食べたが、死にました。

@ マナ ただ 腐った 死んだ

何だかわからない (出 16:15)

命のパン キリストの命 永遠 永遠に生きる

誰かわからない (7:27)

ヨハ 6:51 わたしは、天から下って来た生けるパンです。だれでもこのパンを食べるなら、**永遠に**生きます。そして、わたしが与えるパンは、世のいのちのための、わたしの**肉**です。」

永遠に= ◀ 165. aión (アイオーン) 125 回 ▶ 世(マタイ 13:22)、とこしえに(マタイ 6:13)、永遠に(ヨハネ 6:51)、昔(ヨハ 9:32)、

肉= ◀ 4561. sarx (サルクス) 149 回 ▶ 体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

(6:51~63) (?) ★ 6 3 節まで「肉」はキリストのからだにも関わらずすべてサルクス

6:53 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたがたのうちに、いのちはありません。

6:63 いのちを与えるのは御霊です。 **肉**は何の益ももたらしません。わたしがあなたがたに話してきたことばは、 **霊**であり、またいのちです。

肉 = ◀ 4561. sarx (サルクス) 149 回 ▶ 体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

@この「肉」という言葉は、魂の欲(多くの場合罪)をあらわす言葉です。したがって通常、「キリストの体」を指すときは「◀ 4983. Sóna(ソマ) 142 回 ▶ 身体、肉体、(キリストの)身体 (改 4)では「からだ」を用いる。

@永遠のいのちのことば=(6:58) これは、天から下ってきたパンです

@ことば = (へ) レーマ

@創世記 6:13 そこで、神はノアに仰せられた。「すべての肉なるものの終わりが、わたしの前に来ている。地は、彼らのゆえに、暴虐で満ちているからだ。それで今わたしは、彼らを地とともに滅ぼそうとしている。

@(ローマ 8:6 肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です。

@肉の思い = 肉体のことではなく魂の問題

6:64 けれども、あなたがたの中に信じない者たちがいます。」信じない者たちがだれか、ご自分を裏切る者がだれか、イエスは初めから知っておられたのである。

6:65 そしてイエスは言われた。「ですから、わたしはあなたがたに、『父が与えてくださらないかぎり、だれもわたしのもとに来ることはできない』と言ったのです。」

ですから = ◀ 1223. dia 669 回 ▶ ~を通じて、~によって、~なので、

6:66 こういうわけで、弟子たちのうちの多くの者が離れ去り、もはやイエスとともに歩もうとはしなくなった。

こういうわけで = それから。

6:67 それで、イエスは十二人に、「あなたがたも離れて行きたいのですか」と言われた。

@キリストが一人一人に **Confront** したときに、人々は去ってしまった。

6:68 すると、シモン・ペテロが答えた。「主よ、私たちはだれのところに行けるでしょうか。あなたは、**永遠のいのちのことば**を持っておられます。

@永遠のいのちのことば=(6:58) これは、天から下ってきたパンです
@ことば= (へ) レーマ

6:69 私たちは、あなたが神の聖者であると信じ、また知っています。」

知っています=◀ 1097. ginóskó (ギノスコ)222回▶知る、体験的に知る、知覚する、感じる

7:2 時に、仮庵の祭りというユダヤ人の祭りが近づいていた。

金の水差し=岩から水 (7 : 3 8)、仮庵=テント住まい

◀ 4637. skénoó 5回 (V)▶ 天幕を張る、ヨハネ 1:14、その他黙示録に4回

Definition: to have one's tent, dwell

Usage: I dwell as in a tent, encamp, have my tabernacle.

その他の幕屋と訳された言葉

◀ 4633. skéné 20回 (N)▶ 仮庵と訳されたのは使徒 15:16 でこの言葉だけ

◀ 4636. skénos 2回 (N)▶ 第2コリント 5:1、5:4

◀ 4638. skénóma 3回 (N)▶ 使徒 7:46、第2ペテロ 1:3、1:4

◀ 4634. skénopégia 1 回 (N) ▶ 旧約の仮庵。 ヨハ 7:2 時に、仮庵の祭りというユダヤ人の祭りが近づいていた。

◀ 4637. skénoó 5 回 (V) ▶ 天幕を張る、ヨハネ 1:14、その他黙示録に 4 回

7:3 そこで、イエスの兄弟たちがイエスに言った。「ここを去ってユダヤに行きなさい。そうすれば、弟子たちもあなたがしている働きを見ることができます。

@兄弟達=ヤコブ（ガラ 1:19）など

7:6 そこで、イエスは彼らに言われた。「わたしの時はまだ来ていません。しかし、あなたがたの時はいつでも用意ができています。

7:8 あなたがたは祭りに上って行きなさい。わたしはこの祭りに上って行きません。わたしの時はまだ満ちていないのです。」

上って行きません=(TR)まだ上って行きません

7:9 こう言って、イエスはガリラヤにとどまられた。

7:10 しかし、兄弟たちが祭りに上って行った後で、イエスご自身も、表立ってではなく、いわば内密に上って行かれた。

7:17 だれでも神のみこころを行おうとするなら、その人には、この教えが神から出たものなのか、わたしが自分から語っているのかが分かります。

マタイ 7:21 わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。

ホセア 6:3 私たちは知ろう。【主】を知ることを切に追い求めよう。
主は暁のように確かに現れ、大雨のように私たちのところに来られる。
地を潤す、後の雨のように。
@主を知る事=人格的な交わり

ヨハネ 17:3 永遠のいのちとは、唯一のまことの神であるあなたと、
あなたが遣わされたイエス・キリストを知ることです。

7:18 自分から語る人は自分の栄誉を求めます。しかし、自分を遣わされた方の栄誉を求める人は真実で、その人には不正がありません。

7:22 モーセはあなたがたに割礼を与えました。それはモーセからではなく、父祖たちから始まったことです。そして、あなたがたは安息日にも人に割礼を施しています。

父祖たち=(改 2)先祖達=アブラハム

7:23 モーセの律法を破らないようにと、人は安息日にも割礼を受けるのに、わたしが安息日に人の全身を健やかにしたということで、あなたがたはわたしに腹を立てるのですか。

7:27 しかし、私たちはこの人がどこから来たのか知っている。キリストが来られるときには、どこから来るのかだれも知らないはずだ。

@どこから・・・ダビデの家系、ベツレヘムで、西暦元年あたり

7:37 さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立ち上がり、大きな声で言われた。「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。

@祭りの終わりの大いなる日＝祭司が金の水差しを7回振って水を注ぐ日

7:38 わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになります。」

心の奥底＝◀ 2836. koilia (カイリア)22回▶おなか全体、内臓、心、(NAS) his innermost 、(KJV)his belly

箴 23:16 あなたの唇が公正を語るなら、私の心は喜びに躍る。

心＝◀ 3629. kilyah (כילה) 31回▶腎臓、思い、心(Pro23:16)、内なる思い(P16:7)

箴 26:22 陰口をたたく者のことばは、おいしい食べ物のように。腹の奥に下って行く。

腹の奥＝◀ 2315. cheder (חדר) 38回▶奥の部屋(Ge43:30)、寢室(Ex 8:3)、内には(恐怖が)(申 32:25)

(google)部屋

詩 16:7 私はほめたたえます。助言を下さる【主】を。実に夜ごとに内なる思いが私を教えます。

内なる思い＝◀ 3629. kilyah (כילה) 31回▶腎臓、思い、心(Pro23:16)、内なる思い(P16:7)

(google)腎臓

7:39 イエスは、ご自分を信じる者が受けることになる御霊について、こう言われたのである。イエスはまだ栄光を受けておられなかったので、御霊はまだ下っていなかったのである。

栄光を受ける＝◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

7:46 下役たちは答えた。「これまで、あの人のように話した人はいませんでした。」

@役人も飢え乾いていた

7:47 そこで、パリサイ人たちは答えた。「おまえたちまで惑わされているのか。

7:49 それにしても、律法を知らないこの群衆はのろわれている。」

@パリサイ人達こそ人々に律法を教える責任があったのに。

7:52 彼らはニコデモに答えて言った。「あなたもガリラヤの出なのか。よく調べなさい。ガリラヤから預言者は起こらないことが分かるだろう。」

@ (ジェリー J の解説) 勉強不足、ヨブは西ガリラヤ (ガテヘフェル) 出身。(2列 14 : 25)

8:4 イエスに言った。「先生、この女は姦淫の現場で捕らえられました。

8:11 彼女は言った。「はい、主よ。だれも。」イエスは言われた。「わたしもあなたにさばきを下さない。行きなさい。これからは、決して罪を犯してはなりません。』

8:12 イエスは再び人々に語られた。「わたしは世の光です。わたしに従う者は、決して闇の中を歩むことがなく、いのちの光を持ちます。」

@エペ 5:8 あなたがたは以前は闇でしたが、今は、主にあって光と

なりました。光の子どもとして歩みなさい。

8:15 あなたがたは肉によってさばきますが、わたしはだれもさばきません。
(魂)

肉 = ◀ 4561. sarx (サルクス) 149 回 ▶ 体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

8:16 たとえ、わたしがさばくとしても、わたしのさばきは真実です。わたしは一人ではなく、わたしとわたしを遣わした父がさばくからです。

8:17 あなたがたの律法にも、二人の人による証しは真実であると書かれています。

@証人=父、ヨハネ、しるし、聖書、モーセ

@父の宣言「洗礼のとき(マタイ 3:17)、山上の変貌(ルカ 9:35)(ヨハネ 12:28)

8:21 イエスは再び彼らに言われた。「わたしは去って行きます。あなたがたはわたしを捜しますが、自分の罪の中で死にます。わたしが行くところに、あなたがたは来ることができません。」

8:22 そこで、ユダヤ人たちは言った。「『わたしが行くところに、あなたがたは来ることができません』と言うが、まさか自殺するつもりではないだろう。」

@ユダヤ人=ユダヤ人の指導者

8:24 それで、あなたがたは自分の罪の中で死ぬと、あなたがたに言ったのです。わたしが『わたしはある』であることを信じなければ、あなたがたは、自分の罪の中で死ぬことになるからです。」

わたしが『わたしはある』であることを信じなければ = (改 2) わたし
しのことを信じなければ

(ギ) ego

eimi

= (RV) yo soy

el que soy

(KJV) if ye

believe not that I am he

(he 彼=神)を入れた KJV の訳はやりすぎ。(NKJ)ではさらに he を大文字の He とした)

@ego eimi が登場する箇所

ヨハネ 8:24 それで、あなたがたは自分の罪の中で死ぬと、あなたがたに言ったのです。わたしが『わたしはある』であることを信じなければ、あなたがたは、自分の罪の中で死ぬことになるからです。

ヨハネ 8:28 そこで、イエスは言われた。「あなたがたが人の子を上げたとき、そのとき、わたしが『わたしはある』であること、また、わたしが自分からは何もせず、父がわたしに教えられたとおりに、これらのことを話していたことを、あなたがたは知るようになります。

ヨハネ 8:58 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。アブラハムが生まれる前から、『わたしはある』なのです。」

ヨハネ 18:5 彼らは「ナザレ人イエスを」と答えた。イエスは彼らに「わたしがそれだ」と言われた。イエスを裏切ろうとしていたユダも彼らと一緒に立っていた。

ヨハネ 18:6 イエスが彼らに「わたしがそれだ」と言われたとき、彼

らは後ずさりし、地に倒れた。

ヨハネ 18:8 イエスは答えられた。「わたしがそれだ、と言ったではないか。わたしを捜しているのなら、この人たちは去らせなさい。」

8:25 そこで、彼らはイエスに言った。「あなたはだれなのですか。」イエスは言われた。「それこそ、初めからあなたがたに話していることではありませんか。」

8:26 わたしには、あなたがたについて言うべきこと、さばくべきことがたくさんあります。しかし、わたしを遣わされた方は真実であって、わたしはその方から聞いたことを、そのまま世に対して語っているのです。」

8:27 彼らは、イエスが父について語っておられることを理解していなかった。

8:28 そこで、イエスは言われた。「あなたがたが人の子を上げたとき、そのとき、わたしが『わたしはある』であること、また、わたしが自分からは何もせず、父がわたしに教えられたとおりに、これらのことを話していたことを、あなたがたは知るようになります。」

わたしが『わたしはある』であること

= (改2) わたしが何であるか

= (ギ) hoti ego eimi

= (NAS) that I am He

= (KJV) that I am he

= (NKJ) that I am He

(he 彼=神) を入れた NAS と KJV の訳はやりすぎ。(NKJ)ではさらに he を大文字の He とした)

@ego eimi が登場する箇所

ヨハネ 8:24 それで、あなたがたは自分の罪の中で死ぬと、あなたがたに言ったのです。わたしが『わたしはある』であることを信じなければ、あなたがたは、自分の罪の中で死ぬことになるからです。

ヨハネ 8:28 そこで、イエスは言われた。「あなたがたが人の子を上げたとき、そのとき、わたしが『わたしはある』であること、また、わたしが自分からは何もせず、父がわたしに教えられたとおりに、これらのことを話していたことを、あなたがたは知るようになります。

ヨハネ 8:58 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。アブラハムが生まれる前から、『わたしはある』なのです。」

ヨハネ 18:5 彼らは「ナザレ人イエスを」と答えた。イエスは彼らに「わたしがそれだ」と言われた。イエスを裏切ろうとしていたユダも彼らと一緒に立っていた。

ヨハネ 18:6 イエスが彼らに「わたしがそれだ」と言われたとき、彼らは後ずさりし、地に倒れた。

ヨハネ 18:8 イエスは答えられた。「わたしがそれだ、と言ったではないか。わたしを捜しているのなら、この人たちは去らせなさい。」

8:29 わたしを遣わした方は、わたしとともにおられます。わたしを一人残されることはありません。わたしは、その方が喜ばれることをいつも行うからです。

その方が喜ばれることをいつも行うからです。=(改 2)そのみこころにかなう

ことを行なうからです。

8:31 イエスは、ご自分を信じたユダヤ人たちに言われた。「あなたがたは、わたしのことばにとどまるなら、本当にわたしの弟子です。

8:32 あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」

@信じたユダヤ人 = (8 : 59) で殺そうとする。

@とどまるなら = (英) しがみつくなら

@真理そのものが人を自由にするのではなく、真理を知ることが人を自由にする (ホセア 4:6)

@永遠の命 = 神を知ること (ヨハネ 13:7)

8:33 彼らはイエスに答えた。「私たちはアブラハムの子孫であって、今までだれの奴隷になったこともありません。どうして、『あなたがたは自由になる』と言われるのですか。」

@エジプト、バビロンでそして今もローマの属国である。=現状を見ていない。

8:38 わたしは父のもとで見たことを話しています。あなたがたは、あなたがたの父から聞いたことを行っています。」

@2種類の子供 ①血統による ②信仰による

8:41 あなたがたは、あなたがたの父がすることを行っているのです。」すると、彼らは言った。「私たちは淫らな行いによって生まれた者ではありません。私たちにはひとりの父、神がいます。」

@偽りを信じるなら = 悪魔の子 = 奴隷 (ガラテア 4 : 1)

8:42

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

8:43 あなたがたは、なぜわたしの話が分からないのですか。それは、わたしのことばに聞き従うことができないからです。

@ (1 ヨハネ 3:10 そのことによって、神の子どもと悪魔の子どもとの区別がはっきりします。、、、

8:44 あなたがたは、悪魔である父から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと思っています。悪魔は初めから人殺しで、真理に立っていません。彼のうちには真理がないからです。悪魔は、偽りを言うとき、自分の本性から話します。なぜなら彼は偽り者、また偽りの父だからです。

自分の本性から話します=(改2)自分にふさわしい話し方、(口)本音、(NIV) native language

8:45 しかし、このわたしは真理を話しているので、あなたがたはわたしを信じません。

8:46 あなたがたのうちのだれが、わたしに罪があると責めることができますか。わたしが真理を話しているなら、なぜわたしを信じないのですか。

8:47 神から出た者は、神のことばに聞き従います。ですから、あなたがたが聞き従わないのは、あなたがたが神から出た者でないからです。」

神のことば=レーマ

8:51 まことに、まことに、あなたがたに言います。だれでもわたしのことば

を守るなら、その人はいつまでも決して死を見ることがありません。」

8:54 イエスは答えられた。「わたしがもし自分自身に栄光を帰するなら、わたしの栄光は空しい。わたしに栄光を与える方は、わたしの父です。この方を、あなたがたは『私たちの神である』と言っています。

栄光を与える = ◀ 1392. doxazó (ドクサツ) 6 2回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

8:55 あなたがたはこの方を知らないが、わたしは知っています。もしわたしがこの方を知らないと言うなら、わたしもあなたがたと同様に偽り者となるでしょう。しかし、わたしはこの方を知っていて、そのみことばを守っています。

8:56 あなたがたの父アブラハムは、わたしの日を見るようになることを、大いに喜んでいました。そして、それを見て、喜んだのです。」

@ (マタイ 13:17 まことに、あなたがたに言います。多くの預言者や義人たちが、あなたがたが見ているものを見たいと切に願ったのに、見られず、あなたがたが聞いていることを聞きたいと切に願ったのに、聞けませんでした。

@ (1ペテ 1:12 彼らは、自分たちのためではなく、あなたがたのために奉仕しているのだという啓示を受けました。そして彼らが調べたことが今や、天から遣わされた聖霊により福音を語った人々を通して、あなたがたに告げ知らされたのです。御使いたちもそれをはっきり見たいと願っています。

@(改 4)11:19 彼は、神には人を死者の中からよみがえらせることもできると考えました。それで彼は、比喩的に言えば、イサクを死者の中から取り戻したのです。

大いに喜んでいました=◀ 21. agalliaó (アガリアオ) 11回▶ 歓喜にあふれて喜ぶ

マタ 5:12 喜びなさい。大いに喜びなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのですから。あなたがたより前にいた預言者たちを、人々は同じように迫害したのです。

ルカ 1:47 私の霊は私の救い主である神をたたえます。

10:21 ちょうどそのとき、イエスは聖霊によって喜びにあふれて言われた。「天地の主であられる父よ、あなたをほめたたえます。あなたはこれらのことを、知恵ある者や賢い者には隠して、幼子たちに現してくださいました。そうです、父よ、これはみこころにかなったことでした。

ヨハ 5:35 ヨハネは燃えて輝くともしびであり、あなたがたはしばらくの間、その光の中で大いに喜ぼうとしました。

ヨハ 8:56 あなたがたの父アブラハムは、わたしの日を見るようになることを、大いに喜んでいました。そして、それを見て、喜んだのです。」

使 2:26 それゆえ、私の心は喜び、私の舌は喜びにあふれます。私の身も、望みの中に住まいます。

使 16:34 それから二人を家に案内して、食事のもてなしをし、神を信じたことを全家族とともに心から喜んだ。

第1 ペテ 1:6 そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいます。
今しばらくの間、様々な試練の中で悲しまなければならないのですが、

第1 ペテ 1:8 あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、今見てはいないけれども信じており、ことばに尽くせない、栄えに満ちた喜びに躍っています。

第1 ペテ 4:13 むしろ、キリストの苦難にあずかればあずかるほど、いっそう喜びなさい。キリストの栄光が現れるときにも、歓喜にあふれて喜ぶためです。

黙 19:7 私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。子羊の婚礼の時が来て、花嫁は用意ができたのだから。

8:58 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。アブラハムが生まれる前から、『わたしはある』なのです。」

わたしはある = (改2) わたしはいる
= (ギ) ego eimi
= (NAS) before Abraham was born, I am
= (KJV) Before Abraham was, I am.
= (NKJ) before Abraham was, I AM
(NKJ)ではさらに I am を大文字の I AM とした)

@ego eimi が登場する箇所

ヨハネ 8:24 それで、あなたがたは自分の罪の中で死ぬと、あなたがたに言ったのです。わたしが『わたしはある』であることを信じなければ、あなたがたは、自分の罪の中で死ぬことになるからです。

ヨハネ 8:28 そこで、イエスは言われた。「あなたがたが人の子を上げたとき、そのとき、わたしが『わたしはある』であること、また、わたしが自分からは何もせず、父がわたしに教えられたとおりに、これらのことを話していたことを、あなたがたは知るようになります。

ヨハネ 8:58 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。アブラハムが生まれる前から、『わたしはある』なのです。」

ヨハネ 18:5 彼らは「ナザレ人イエスを」と答えた。イエスは彼らに「わたしがそれだ」と言われた。イエスを裏切ろうとしていたユダも彼らと一緒に立っていた。

ヨハネ 18:6 イエスが彼らに「わたしがそれだ」と言われたとき、彼らは後ずさりし、地に倒れた。

ヨハネ 18:8 イエスは答えられた。「わたしがそれだ、と言ったではないか。わたしを捜しているのなら、この人たちは去らせなさい。」

8:59 すると彼らは、イエスに投げつけようと石を取った。しかし、イエスは身を隠して、宮から出て行かれた。

彼ら＝フォロワー

@自分を神と宣言したゆえに彼らはイエスを殺そうとした。

ego eimi が「わたしはあるもの」という神の名であったことの根拠となるか？

@このイエスを殺そうとしたユダヤ人は信者達(8:31)であった。にもかかわらず8章の後半ずっとにあるように、疑い反論した。

9:4 わたしたちは、わたしを遣わされた方のわざを、昼のうちに行わなければなりません。だれも働くことができない夜が来ます。

9:5 わたしが世にいる間は、わたしが世の光です。」

9:6 イエスはこう言ってから、地面に唾をして、その唾で泥を作られた。そして、その泥を彼の目に塗って、

9:7 「行って、シロアム（訳すと、遣わされた者）の池で洗いなさい」と言われた。そこで、彼は行って洗った。すると、見えるようになり、帰って行った。

@行って=池まで500mある。盲目のまま信仰によって歩まねばならない

@ 6 番目の奇跡

9:10 そこで、彼らは言った。「では、おまえの目はどのようにして開いたのか。」

@彼らの質問はどのよう(How)にしてか

9:11 彼は答えた。「イエスという方が泥を作って、私の目に塗り、『シロアムの池に行って洗いなさい』と言われました。それで、行って洗うと、見えるようになりました。」

@彼の答えは誰が(Who)

9:15 こういうわけで再び、パリサイ人たちも、どのようにして見えるようになったのか、彼に尋ねた。彼は、「あの方が私の目に泥を塗り、私が洗いまし

た。それで今は見えるのです」と答えた。

@How Who この後も 19, 26 節で How と聞いている

9:16 すると、パリサイ人のうちのある者たちは、「その人は安息日を守らないのだから、神のもとから来た者ではない」と言った。ほかの者たちは「罪人である者に、どうしてこのようなしるしを行うことができるだろうか」と言った。そして、彼らの間に分裂が生じた。

@知恵の言葉

9:19 尋ねた。「この人は、あなたがたの息子か。盲目で生まれたとあなたがたが言っている者か。そうだとしたら、どうして今は見えるのか。」

9:20 そこで、両親は答えた。「これが私たちの息子で、盲目で生まれたことは知っています。

9:21 しかし、どうして今見えているのかは知りません。だれが息子の目を開けてくれたのかも知りません。本人に聞いてください。もう大人です。自分のことは自分で話すでしょう。」

9:22 彼の両親がこう言ったのは、ユダヤ人たちを恐れたからであった。すでにユダヤ人たちは、イエスをキリストであると告白する者がいれば、会堂から追放すると決めていた。

9:23 そのため彼の両親は、「もう大人ですから、息子に聞いてください」と言ったのである。

9:24 そこで彼らは、目の見えなかったその人をもう一度呼び出して言った。「神に栄光を帰しなさい。 私たちはあの人が罪人であることを知っているのだ。」

@神に栄光を帰しなさい。= (別訳) 真実を言いなさい
=(KJV) Give God the praise

@真理を話したのに信じない

9:26 彼らは言った。「あの人はおまえに何をしたのか。どのようにしておまえの目を開けたのか。」

9:27 彼は答えた。「すでに話しましたが、あなたがたは聞いてくれませんでした。なぜもう一度聞こうとするのですか。あなたがたも、あの方の弟子になりたいのですか。」

@ 5回も答えた

9:31 私たちは知っています。神は、罪人たちの言うことはお聞きになりませんが、神を敬い、神のみこころを行う者がいれば、その人の言うことはお聞きくださいます。

9:32 盲目で生まれた者の目を開けた人がいるなどと、**昔**から聞いたことはありません。

昔= ◀ 165. aión (アイオーン) 125 回▶ 世(マタイ 13:22)、とこしえに(マタ 6:13)、永遠に(ヨハネ 6:51)、
昔(ヨハ 9:32)

9:34 彼らは答えて言った。「おまえは全く罪の中に生まれていながら、私たちに教えるのか。」そして、彼を外に追い出した。

@盲目は罪の結果と考えられていたので盲人は罪人である

@目が開かれたゆえ追い出された。

9:35 イエスは、ユダヤ人たちが彼を外に追い出したことを聞き、彼を見つけ出して言われた。「あなたは人の子を信じますか。」

@イエスはフォローアップしに来た

9:36 その人は答えた。「主よ、私が信じることができるように教えてください。その人はどなたですか。」

@このとき初めてキリストを見た

9:38 彼は「主よ、信じます」と言って、イエスを礼拝した。

@目が開かれた人の3つの反応（1、主よ、2、信じます、3、礼拝）

礼拝した = ◀ 4352. proskuneó (プロスクネーオ) 60回 ▶ (一般的な礼拝を意味する単語) 敬意を払う、(畏敬をもって手に)キスする、ひざまづく、礼拝する

9:40 パリサイ人の中でイエスとともにいた者たちが、このことを聞いて、イエスに言った。「私たちも盲目なのですか。」

9:41 イエスは彼らに言われた。「もしあなたがたが盲目であったなら、あなたがたに罪はなかったでしょう。しかし、今、『私たちは見える』と言っているのですから、あなたがたの罪は残ります。」

10:1 「まことに、まことに、あなたがたに言います。羊たちの囲いに、門から入らず、ほかのところを乗り越えて来る者は、盗人であり強盗です。

@ 3つの登場人物 1 : 盗人、 2 : 金のために働く人、 3 : 牧者

10:3 門番は牧者のために門を開き、羊たちはその声を聞き分けます。牧者は自分の羊たちを、それぞれ名を呼んで連れ出します。

@ 牧者は名前を知っている

10:4 羊たちをみな外に出すと、牧者はその先頭に立って行き、羊たちはついて行きます。彼の名を知っているからです。

@ 先頭に立つ (ヨエル 2:11 【主】はご自分の軍隊の先頭に立って声をあげられる。その陣営は非常に大きく、主のことばを行う者は強い。【主】の日は偉大で、非常に恐ろしい。だれがこの日に耐えられるだろう。

10:9 わたしは門です。だれでも、わたしを通して入るなら救われます。また出たり入ったりして、牧草を見つけます。

救われます= ◀ 4982. szó 108 回 ▶ 救う、癒す、保存する、救助する。

出たり入ったりして= × (改 2) 安らかに 出入りして (改 2) の「安らかに」は補足

10:10 盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。

10:11 わたしは良い牧者です。良い牧者は羊たちのためにいのちを捨てます。

10:12 牧者でない雇い人は、羊たちが自分のものではないので、狼が来るのを

見ると、置き去りにして逃げてしまいます。それで、狼は羊たちを奪ったり散らしたりします。

10:13 彼は雇い人で、羊たちのことを心にかけていないからです。

@ (エゼキ 34:2) 「人の子よ、イスラエルの牧者たちに向かって預言せよ。預言して、牧者である彼らに言え。『【神】である主はこう言われる。わざわざだ。自分を養っているイスラエルの牧者たち。牧者が養わなければならないのは羊ではないか。

10:16 わたしにはまた、この囲いに属さないほかの羊たちがいます。それらも、わたしは導かなければなりません。その羊たちはわたしの声に聞き従います。そして、一つの群れ、一人の牧者となるのです。

10:17 わたしが再びいのちを得るために自分のいのちを捨てる **からこそ**、父はわたしを愛してくださいます。

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

10:18 だれも、わたしからいのちを取りません。 わたしが自分からいのちを捨てるのです。わたしには、それを捨てる権威があり、再び得る権威があります。わたしはこの命令を、わたしの父から受けたのです。」

10:19 これらのことばのために、ユダヤ人たちの間に再び **分裂が生じた**。

@真理は分裂を生じさせる

10:24 ユダヤ人たちは、イエスを取り囲んで言った。「あなたは、 いつまで私たちに気をもませるのですか。あなたがキリストなら、はっきりと言ってくだ

さい。」

10:28 わたしは彼らに永遠のいのちを与えます。彼らは永遠に、決して滅びることがなく、また、だれも彼らをわたしの手から奪い去りはしません。

@主は我々を離れないが、私たちが離れることはできる

@@三位一体=10:28 わたしの手から、10:29 父の手から、10:30 わたしと父とは一つです

10:29 わたしの父がわたしに与えてくださった者は、すべてにまさって大切です。だれも彼らを、父の手から奪い去ることはできません。

10:30 わたしと父とは一つです。」

10:34 イエスは彼らに答えられた。「あなたがたの律法に、『わたしは言った。「おまえたちは神々だ』』と書かれていないでしょうか。

神々 = ◀ Θεοι (変化後)5 回 ▶ (名詞・主格・複数・男性) この形はヨハネ 10:34 以外はすべて異教の神

=原型 ◀ 2316. theos (θεός, οἱ, ὁ) 1327 回 ▶ 神、神々

ギリシャ語では単数複数形があるがヘブライ語はすべて複数形

ヘブライ語 ◀ 430. elohim (אֱלֹהִים) 2598 回 ▶ 神 神々

詩篇 82:6 わたしは言った。「おまえたちは神々だ。みないと高き者の子らだ。

10:35 神のことばを受けた人々を神々と呼んだのなら、聖書が廃棄されることはあり得ないのだから、

神々 = ◀ θεοῦ (変化後) ▶ 名詞・対格・複数・男性

10:36 『わたしは神の子である』とわたしが出たからといって、どうしてあなたがたは、父が聖なる者とし、世に遣わした者について、『神を冒瀆している』と言うのですか。

10:38 しかし、行っているのなら、たとえわたしが信じられなくても、わたしのわざを信じなさい。それは、父がわたしにおられ、わたしも父にいて、あなたがたが知り、また深く理解するようになるためです。」

11:1 さて、ある人が病気にかかっていた。ベタニアのラザロである。ベタニアはマリアとその姉妹マルタの村であった。

11:3 姉妹たちは、イエスのところに使いを送って言った。「主よ、ご覧ください。あなたが愛しておられる者が病気で。」

愛する = ◀ 5368. phileó (フィレオ) 25回 ▶ 愛する、愛情を持った気づかい、大切に、キスする

11:4 これを聞いて、イエスは言われた。「この病気は死で終わるものではなく、神の栄光のためのものです。それによって神の子が栄光を受けることになります。」

@ (ギ) この病気は死に至るほどのものではない。

したがってマリア達の葛藤はイエスが死なないといったにも関わらず、ラザロが死んだ現実であった。

「死で終わるだけのものではなく」といった思わせぶりのセリフをイエスが言ったのではない。

栄光 = ◀ 1391. doxa (ダクサ)167 回 ▶ (N)

栄光を受ける ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2 回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

11:5

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

11:6 しかし、イエスはラザロが病んでいると聞いてからも、そのときいた場所に二日とどまられた。」

しかし、=(ギ) hós oun ホース ウーン

= ◀ 5613. hós ▶ as like as, when, so that. ◀ 3767. oun ▶ therefore, then

(改 2)そのようなわけで、
(KJV) when

11:8 弟子たちはイエスに言った。「先生。ついこの間ユダヤ人たちがあなたを石打ちにしようとしたのに、またそこにおいでになるのですか。」

@恐れ

11:13 イエスは、ラザロの死のことを言われたのだが、彼らは睡眠の意味での眠りを言われたものと思ったのである。

睡眠 = koimēseōs tou hypnou = sleep of sleep

◀ 2838. koimésis (コイメイシス) 1 回 ▶ 休息

◀ 5258. hupnos (フプナス) 6 回 ▶ 睡眠 (深い眠り)

hupnos (フプナス)が使われている箇所

マタ 1:24 ヨセフは眠りから覚めると主の使いが命じたとおりにし、自分の妻を迎え入れたが、

ルカ 9:32 ペテロと仲間たちは眠くてたまらなかったが、はっきり目が覚めると、イエスの栄光と、イエスと一緒に立っている二人の人が見えた。

ヨハ 11:13 イエスは、ラザロの死のことを言われたのだが、彼らは睡眠の意味での眠りを言われたものと思ったのである。

使 20:9 ユテコという名の一人の青年が、窓のところに腰掛けていたが、パウロの話が長く続くので、ひどく眠気がさし、とうとう眠り込んで三階から下に落ちてしまった。抱き起こしてみると、もう死んでいた。

ロマ 13:11 さらにあなたがたは、今がどのような時であるか知っています。あなたがたが眠りからさめるべき時刻が、もう来ているのです。私たちが信じたときよりも、今は救いをもっと私たちに近づいているのですから。

新改訳聖書で眠るは 42 節。その他の眠るは ◀ 2518. katheudó (カスド) 22 回 ▶ と koimésis (コイメイシス)の動詞形の ◀ 2837. koimaó from NG2749 (コイマオ) 18 回 ▶ です。コイマオは「置く、横たえる」を意味する ◀ 2749. keimai (カイマイ) 24 回 ▶ の派生形です。

@無理解

11:16 そこで、デドモと呼ばれるトマスが仲間の弟子たちに言った。「私たち

も行って、主と一緒に死のうではないか。」

@主といっしょに死のうではないか=感情的な言葉

@ゲツセマネ=逃げた、よみがえり=信じない

11:17 イエスがおいでになると、ラザロは墓の中に入れられて、すでに四日たっていた。

11:21 マルタはイエスに言った。「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。」

11:22 しかし、あなたが神にお求めになることは何でも、神があなたにお与えになることを、私は今でも知っています。」

11:24 マルタはイエスに言った。「終わりの日のよみがえりの時に、私の兄弟がよみがえることは知っています。」

@これはユダヤ教の生死観

@義人も悪人もよみがえる

使 24:25 しかし、パウロが正義と節制と来たるべきさばきについて論じたので、フェリクスは恐ろしくなり、「今は帰ってよい。折を見て、また呼ぶことにする」と言った。

使徒 20:4 また私は多くの座を見た。それらの上に座っている者たちがいて、彼らにはさばきを行う権威が与えられた。また私は、イエスの証しと神のことばのゆえに首をはねられた人々のたましいを見た。彼らは獣もその像も拝まず、額にも手にも獣の刻印を受けていなかった。

た。彼らは生き返って、キリストとともに千年の間、王として治めた。

永遠の刑罰

黙示 20:13 海はその中にいる死者を出した。死とよみも、その中にいる死者を出した。彼らはそれぞれ自分の行いに応じてさばかれた。

20:14 それから、死とよみは火の池に投げ込まれた。これが、すなわち火の池が、第二の死である。

マタイ 25:32 そして、すべての国の人々が御前に集められます。人の子は、羊飼いが羊をやぎからより分けるように彼らをより分け、

マタイ 25:46 こうして、この者たちは永遠の刑罰に入り、正しい人たちは永遠のいのちに入ります。

11:25 イエスは彼女に言われた。「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。

ヘブル 11:35 女たちは、死んだ身内の者たちをよみがえらせていただきました。また、ほかの人たちは、もっとすぐれたよみがえりを得るために、釈放されることを拒んで拷問を受けました。

11:30 イエスはまだ村に入らず、マルタが出迎えた場所におられた。

11:32 マリアはイエスがおられるところに来た。そしてイエスを見ると、足もとにひれ伏して言った。「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。」

11:33 イエスは、彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのをご覧になった。そして、霊に憤りを覚え、心を騒がせて、

憤りを覚えて= ◀ 1690. embrimaomai (エンブレマオマイ) 5回 ▶ 怒りに動かされる、厳しく戒める

マタ 9:30 すると、彼らの目が開いた。イエスは彼らに厳しく命じて、「だれにも知られないように気をつけなさい」と言われた。

マル 1:43 イエスは彼を厳しく戒めて、すぐに立ち去らせた。

マル 14:5 この香油なら、三百デナリ以上に売れて、貧しい人たちに施しができたのに。」そして、彼女を厳しく責めた。

ヨハ 11:33 イエスは、彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのをご覧になった。そして、霊に憤りを覚え、心を騒がせて、

ヨハ 11:38 イエスは再び心のうちに憤りを覚えながら、墓に来られた。墓は洞穴で、石が置かれてふさがれていた。

@ 「心のうち」は補足

11:35 イエスは涙を流された。

11:36 ユダヤ人たちは言った。「ご覧なさい。どんなにラザロを愛しておられたことか。」

愛する= ◀ 5368. phileó (フィレオ) 25回 ▶ 愛する、愛情を持った気づかい、大切にする、キスする

11:38 イエスは再び心のうちに憤りを覚えながら、墓に来られた。墓は洞穴で、石が置かれてふさがれていた。

@ 「心のうち」は補足

憤りを覚え=◀ 1690. embrimaomai (エンブレマオマイ) 5回▶怒りに動かされる、厳しく戒める

マタ 9:30 すると、彼らの目が開いた。イエスは彼らに厳しく命じて、「だれにも知られないように気をつけなさい」と言われた。

マル 1:43 イエスは彼を厳しく戒めて、すぐに立ち去らせた。

マル 14:5 この香油なら、三百デナリ以上に売れて、貧しい人たちに施しができたのに。」そして、彼女を厳しく責めた。

ヨハ 11:33 イエスは、彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのをご覧になった。そして、霊に憤りを覚え、心を騒がせて、

ヨハ 11:38 イエスは再び心のうちに憤りを覚えながら、墓に来られた。墓は洞穴で、石が置かれてふさがれていた。

@「心のうち」は補足

11:39 イエスは言われた。「その石を取りのけなさい。」死んだラザロの姉妹マルタは言った。「主よ、もう臭くなっています。四日になりますから。」

11:44 すると、死んでいた人が、手と足を長い布で巻かれたまま出て来た。彼の顔は布で包まれていた。イエスは彼らに言われた。「ほどいてやって、帰らせなさい。」

@ 7番目の奇跡

@ほどいてやる=フォローアップ

11:45 マリアのところに来ていて、イエスがなされたことを見たユダヤ人の多くが、イエスを信じた。

@見た・・・信じた

11:47 祭司長たちとパリサイ人たちは最高法院を召集して言った。「われわれは何をしているのか。あの者が多くのしるしを行っているというのに。

使徒 4:16 「あの者たちをどうしようか。あの者たちによって著しいしるしが行われたことは、エルサレムのすべての住民に知れ渡っていて、われわれはそれを否定しようもない。

ヨハ 12:19 それで、パリサイ人たちは互いに言った。「見てみなさい。何一つうまくいっていない。見なさい。世はこぞってあの人の後について行ってしまった。」

11:48 あの者をこのまま放っておけば、すべての人があの者を信じるようになる。そうすると、ローマ人がやって来て、われわれの土地も国民も取り上げてしまうだろう。

@迫害の動機は恐れ

11:50 一人の人が民に代わって死んで、国民全体が減びないですむほうが、自分たちにとって得策だということを、考えてもいない。」

11:51 このことは、彼が自分から言ったのではなかった。彼はその年の大祭司であったので、イエスが国民のために死のうとしておられること、

11:52 また、ただ国民のためだけでなく、散らされている神の子らを一つに集めるためにも死のうとしておられることを、預言したのである。

@未信者が預言

@散らされている=バベル以来

11:53 その日以来、彼らはイエスを殺そうと企んだ。

その日以来=(改 2)そこで

(TR) oun apo ekeinos hemera

(KJV) Then from that day

@キリストの死を告げる預言を解き明かす啓示が無い

12:2 人々はイエスのために、そこに夕食を用意した。マルタは給仕し、ラザロは、イエスとともに食卓に着いて(345)いた人たちの中にいた。

食卓に着いて=◀ 345. anakeimai (アナケマイ)14回▶食卓に着く、←の意味で横になる(ヨハ 13:23)

@4つのタイプの人たち (1、仕える人=マルタ。

2、座っているだけの人 (奇跡を体験したにも関わらず) =ラザロ。

3、主を礼拝する人=マリヤ。

4、批判する人=ユダ

12:3 一方マリヤは、純粋で非常に高価なナルドの香油を一リトラ取って、イエスの足に塗り、自分の髪でその足をぬぐった。家は香油の香りでいっぱいになった。

ヨハ 12:5 「どうして、この香油を三百デナリで売って、貧しい人々に施さなかったのか。」

@三百デナリ=300人分の日当に相当、デナリウス銀貨で300枚分

@キリストを売った代金は銀貨30枚だが、こちらはシェケル銀貨(デナリウスの3倍の値打ち)らしい。

12:6 彼がこう言ったのは、貧しい人々のことを心にかけていたからではなく、彼が盗人で、金入れを預かりながら、そこに入っているものを盗んでいたからであった。

12:13 なつめ椰子の枝を持って迎えに出て行き、こう叫んだ。「ホサナ。祝福あれ、主の御名によって来られる方に。イスラエルの王に。」

ホサ・ナ=救ってください

@ホサ ◀ 3467. yasha 206回 ▶ 解放する、救う + ナ ◀ 4994. na 403回 ▶ どうか(please)、今(now)

詩篇 118:25 ああ【主】よどうか救ってください。 ああ【主】よどうか栄えさせてください。

ああ【主】よどうか救ってください=

anna Yahweh howosiah na [אנא]
[יהוה] [הושיעה] [נא]

(英) I pray Yahweh Save now

◀ 577. annah or anna [אנא]13回 ▶ 懇願する(beseech)、願う(beg)、祈る(pray)、0、

◀ 3467. yasha [ישׁע]206回 ▶ 解放する、救う

◀ 4994. na [נא] 403回 ▶ どうか(please)、祈る(pray)、今(now)

12:16 これらのことは、初め弟子たちには分からなかった。しかし、イエスが栄光を受けられた後、これがイエスについて書かれていたことで、それを人々がイエスに行ったのだと、彼らは思い起こした。

栄光を受ける ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

12:19 それで、パリサイ人たちは互いに言った。「見てみなさい。何一つうまくいっていない。見なさい。世はこぞってあの人の後について行ってしまった。」

12:20 さて、祭りで礼拝のために上って来た人々の中に、ギリシア人が何人かいた。

礼拝する = ◀ 4352. proskuneó (プラスクネーオ) 60回 ▶ (一般的な礼拝を意味する単語) 礼拝する、敬意を払う、(畏敬をもって手に)キスする、ひざまづく

12:21 この人たちは、ガリラヤのベツサイダ出身のピリポのところに来て、「お願いします。イエスにお目にかかりたいのです」と頼んだ。

12:22 ピリポは行ってアンデレに話し、アンデレとピリポは行って、イエスに話した。

@アンデレ、ピリポはギリシャ系の名前である、それゆえギリシャ人は彼に近づいた。

12:23 すると、イエスは彼らに答えられた。「人の子が栄光を受ける時が来ました。

栄光を受ける = ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

12:24 まことに、まことに、あなたがたに言います。一粒の麦は、地に落ちて

死ななければ、一粒のままです。しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。

@イエスはお目にかかりたい(調べてみたい)というような人には目をくれなかった。

@また単にホサナ「私を救ってください」という現世利益のみの人の相手をしなかった。

12:25 自分のいのちを愛する者はそれを失い、この世で自分のいのちを憎む者は、それを保って永遠のいのちに至ります。

愛する = ◀ 5368. phileó (フィレオ) 25回 ▶ 愛する、愛情を持った気づかい、大切にすること、キスする

12:26 わたしに仕えるというのなら、その人はわたしについて来なさい。わたしがいるところに、わたしに仕える者もいることとなります。わたしに仕えるなら、父はその人を重んじてくださいます。」

12:27 「今わたしの心は騒いでいる。何と言おうか。『父よ、この時からわたしをお救いください』と言おうか。いや、このためにこそ、わたしはこの時に至ったのだ。

12:28 父よ、御名の栄光を現してください。」すると、天から声が聞こえた。「わたしはすでに栄光を現した。わたしは再び栄光を現そう。」

栄光を現す * 2 = ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

@御名の栄光を現してください。 = われわれを通じて

(イザヤ 43:7 わたしの名で呼ばれるすべての者は、わたしの栄光の

ために、わたしがこれを創造し、これを形造り、これを造った。

12:29 そばに立っていてそれを聞いた群衆は、「雷が鳴ったのだ」と言った。
ほかの人々は、「御使いがあの方に話しかけたのだ」と言った。

使徒 22:9 一緒にいた人たちは、その光は見たのですが、私に語っている方の声は聞き分けられませんでした。

12:31 今、この世に対するさばきが行われ、今、この世を支配する者が追い出されます。

ヨハ 12:31 今、この世に対するさばきが行われ、今、この世を支配する者が追い出されます。

ヨハ 16:11 さばきについては、この世を支配する者がさばかれたからです。

第1ヨハネ 5:19 私たちは神に属していますが、世全体は悪い者の支配下にあることを、私たちは知っています。

12:32 わたしが地上から上げられるとき、わたしはすべての人を自分のもとに引き寄せます。」

@拡大解釈ではあるか・・・

私たちがキリストを賛美する（高く上げる）ときに、人々がキリストに引き寄せられる（救われる）

12:34 そこで、群衆はイエスに答えた。「私たちは律法によって、キリストはいつまでも生きると聞きましたが、あなたはどのようにして、人の子は上げられなければならないと言われるのですか。その人の子とはだれですか。」

@聖書の約束のおいしい部分しか知らなかった。十字架（苦しみ）に

目を留めていない。

12:36 自分に光があるうちに、光の子どもとなれるように、光を信じなさい。」
イエスは、これらのことを話すと、立ち去って彼らから身を隠された。

12:40

癒やす＝◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27回▶ (肉体を)癒す (救いという意味はない)

12:43 彼らは、神からの榮譽よりも、人からの榮譽を愛したのである。

愛する＝◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回▶愛する、真の愛で愛する

12:44 イエスは大きな声でこう言われた。「わたしを信じる者は、わたしではなく、わたしを遣わされた方を信じるのです。

12:45 また、わたしを見る者は、わたしを遣わされた方を見るのです。

12:46 わたしは光として世に来ました。わたしを信じる者が、だれも闇の中にとどまることのないようにするためです。

12:47 だれか、わたしのことばを聞いてそれを守らない者がいても、わたしはその人をさばきません。わたしが来たのは世をさばくためではなく、世を救うためだからです。

@ことば＝ (ギ) レーマ

12:48 わたしを拒み、わたしのことばを受け入れない者には、その人をさばくものがあります。わたしが話したことば、それが、終わりの日にその人をさばきます。

12:49 わたしは自分から話したのではなく、わたしを遣わされた父ご自身が、

言うべきこと、話すべきことを、わたしにお命じになったのだからです。

12:50 わたしは、父の命令が永遠のいのちであることを知っています。ですから、わたしが話していることは、父がわたしに言われたとおりを、そのまま話しているのです。」

13:1

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

ヨハ 13:12 イエスは彼らの足を洗うと、上着を着て再び席に着き(377)、彼らに言われた。「わたしがあなたがたに何をしたのか分かりますか。

席に着き = ◀ 377. anapiptó (アナペット) 12 回 ▶ 横たえる、寄りかかる、食卓に着く、座る。ほぼすべて食事の意味

13:13 あなたがたはわたしを『先生』とか『主』とか呼んでいます。そう言うのは正しいことです。そのとおりののですから。

13:16 まことに、まことに、あなたがたに言います。しもべは主人にまさらず、遣わされた者は遣わした者にまさりません。

遣わされた者 = apostolos = ◀ 652. apostolos (アパストラス) 80 回 ▶ 使徒、使者、ミッションのため使わされた者

この単語は聖書に 80 回登場するが、3 か所を除いてすべて「使徒」と訳されている。

その中でヨハネ以外の二か所も、「使者」ではなく「使徒」と訳すべきだった疑いが濃厚。

ヨハネ 13:16 まことに、まことに、あなたがたに言います。しもべは主人にまさらず、遣わされた者は遣わした者にまさりません。

第2コリント 8:23 テトスについて言えば、彼は私の仲間であり、あなたがたのために働く同労者です。私たちの兄弟たちについて言えば、彼らは諸教会の使者であり、キリストの栄光です。

KJV: brethren [be enquired of, they are] the messengers of the churches,

ピリピ 2:25 私は、私の兄弟、同労者、戦友であり、あなたがたの使者で、私の必要に仕えてくれたエパフロディトを、あなたがたのところに送り返す必要があると考えました。

KJV: your messenger, and

@十二使徒+パウロ以外に使徒がないという間違った解釈が誤訳させた。

13:17 これらのことが分かっているなら、そして、それを行うなら、あなたがたは幸いです。

13:18 わたしは、あなたがたすべてについて言っているのではありません。わたしは、自分が選んだ者たちを知っています。けれども、聖書に『わたしのパンを食べている者が、わたしに向かって、かかとを上げます』と書いてあることは成就するのです。

13:19 事が起こる前に、今からあなたがたに言っておきます。起こったときに、わたしが『わたしはある』であることを、あなたがたが信じるためです。

わたしはある = エゴーエイミー = (改2) わたしがその人である
= (ギ) ego eimi

= (NAS) that I am He

= (KJV) that I am he.

= (NKJ) that I am He

((NKJ)ではさらに I am を大文字の IAM とした)

@ego eimi が登場する箇所

ヨハネ 8:24 それで、あなたがたは自分の罪の中で死ぬと、あなたがたに言ったのです。わたしが『わたしはある』であることを信じなければ、あなたがたは、自分の罪の中で死ぬことになるからです。

ヨハネ 8:28 そこで、イエスは言われた。「あなたがたが人の子を上げたとき、そのとき、わたしが『わたしはある』であること、また、わたしが自分からは何もせず、父がわたしに教えられたとおりに、これらのことを話していたことを、あなたがたは知るようになります。

ヨハネ 8:58 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。アブラハムが生まれる前から、『わたしはある』なのです。」

13:20 まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしが遣わす者を受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。そして、わたしを受け入れる者は、わたしを遣わされた方を受け入れるのです。」

遣わされた方 = (ギ・英) the having sent

13:23 弟子の一人がイエスの胸のところで横になっていた(345)。イエスが愛しておられた弟子である。

横になっていた＝◀ 345. anakeimai (アナケマイ)14回▶食卓に着く、←の意味で横になる(ヨハ 13:23)

愛しておられた＝◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回▶愛する、真の愛で愛する

ヨハ 13:25 その弟子はイエスの胸元に寄りかかった(377)まま、イエスに言った。「主よ、それはだれのことですか。」

寄りかかった＝◀ 377. anapíptó (アナペット) 12回▶ 横たえる、寄りかかる、食卓に着く、座る。ほぼすべて食事の意味

13:27 ユダがパン切れを受け取ると、そのとき、サタンが彼に入った。すると、イエスは彼に言われた。「あなたがしようとしていることを、すぐしなさい。」

13:28 席に着いていた(345)者で、なぜイエスがユダにそう言われたのか、分かった者はだれもいなかった。

席に着いていた＝◀ 345. anakeimai (アナケマイ)14回▶食卓に着く、←の意味で横になる(ヨハ 13:23)

13:31 ユダが出て行ったとき、イエスは言われた。「今、人の子は栄光を受け、神も人の子によって栄光をお受けになりました。

栄光を受ける * 2 = ◀ 1392. doxazó (ドクサヅ) 6 2回▶栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

ヨハ 13:32 神が、人の子によって栄光をお受けになったのなら、神も、ご自分で人の子に栄光を与えてくださいます。しかも、すぐに与えてくださいます。

13:34 わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。
わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

13:35 互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」

愛 = ◀ 26. agapé (アガペ) 116 回 ▶ (N) 愛、真の愛

@ 「互いに」のある文章

互いに 励まし (ヘブル 3:13) exhortar

訓戒 (ローマ 15:14)

励まし (1 テサ 5:11) animar

受け入れ (ローマ 15:7)

愛し合い (エペソ 4:8) (ヨハネ 13:24)

重荷を負いあい (ガラ 6:2)

親切にもてなしあい (1 ペテ 4:9)

仕えあい (ヘブル 3:13)

忍耐しあい (コロ 3:13)

赦しあい (コロ 3:13) (エペソ 4:32)

従いあい (エペソ 5:21)

(集まるのをやめないように) 励ましあい (ヘブル 10:25)

愛と善行を促す (ヘブル 10:24)

コロサイ 3:9 互いに偽りを言うてはいけません。あなたがたは古い人をその行いととも脱ぎ捨てて、

ガラテア 5:15 気をつけなさい。互いに、かみつき合ったり、食い合ったりしているなら、互いの間で滅ぼされてしまいます。

第1コリント 6:7 そもそも、互いに訴え合うことが、すでにあなたがたの敗北です。どうして、むしろ不正な行いを甘んじて受けないのですか。どうして、むしろ、だまし取られるままでいいのですか。

14:1 「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。

14:2 わたしの父の家には住む所がたくさんあります。そうでなかったら、あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったでしょうか。

14:3 わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。

@婚約後、花婿は、花嫁と暮らす家を建てて準備し、父が良しと認め、定めた時に結婚できます。

マタ 24:36 ただし、その日、その時がいつなのかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。

@婚約式

ユダヤの習慣では、婚約式の最終日に花婿が花嫁にぶどう酒を出します。花嫁がそれを飲めば婚約が成立です。

しかし、花婿自身は飲みません。結婚するまで飲みません。(およそ1年間)

ルカ 22:18 あなたがたに言います。今から神の国が来る時まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。」

14:6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。

14:7 あなたがたがわたしを知っているなら、わたしの父をも知るようになります。今から父を知るのです。いや、すでにあなたがたは父を見たのです。」

14:8 ピリポはイエスに言った。「主よ、私たちに父を見せてください。そうすれば満足します。」

14:9 イエスは彼に言われた。「ピリポ、こんなに長い間、あなたがたと一緒にいるのに、わたしを知らないのですか。わたしを見た人は、父を見たのです。 どうしてあなたは、『私たちに父を見せてください』と言うのですか。

14:10 わたしが父のうちにいて、父がわたしのうちにおられることを、信じていないのですか。わたしがあなたがたに言うことばは、自分から話しているではありません。わたしのうちにおられる父が、ご自分のわざを行っておられるのです。

ヨハネ 14:20 その日には、わたしが父のうちに、あなたがたがわたしのうちに、そしてわたしがあなたがたのうちにいることが、あなたがたに分かります。

エペソ 2:6 神はまた、キリスト・イエスにあって、私たちをともに

よみがえらせ、ともに天上に座らせてくださいました。

I ヨハ 4:13 神が私たちに御霊を与えてくださったことによって、私たちが神のうちにとどまり、神も私たちのうちにとどまっておられることが分かります。

14:11 わたしが父のうちにいて、父がわたしのうちにおられると、わたしが言うのを信じなさい。信じられないのなら、わざのゆえに信じなさい。

14:12 まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしを信じる者は、わたしが行うわざを行い、さらに大きなわざを行います。わたしが父のもとに行くからです。

ヨハネ 20:21 イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父がわたしを遣わされたように、わたしもあなたがたを遣わします。」

14:13 またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは、何でもそれをしてあげます。父が子によって栄光をお受けになるためです。

@奇跡はわれわれの栄光ではない

栄光を受ける = ◀ 1392. doxazó (ドクサヅ) 6 2回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

14:14 あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしがそれをしてあげます。

14:15 もしわたしを愛しているなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずで
す。

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

14:16 そしてわたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしていただきます。

お願いする = ◀ 2065. erótaó (エロタオ) 63 回 ▶ 尋ねる、質問する、お願いする

(ギリシャ語で)「死ぬほど懇願する」という教えを受けたことがあるが、マタイ 16:13 で「尋ねた」、ルカ 7:36 で「食事をしたいとイエスを招いた (訳出なし)」程度の場合もあるので、それは間違い。

もう一人の = ◀ 243. allos (アラス) 156 回 ▶ 別の(Re13:11)、他の (「同一のは間違い) もう一人の(ヨハ 14:16)

別のものだが、似たもの、同質のもの(キリストに対する聖霊)

ただし、まったく別個のものではない。まったく別個の場合はヘテロス

ガラテア 1:6 私は驚いています。あなたがたが、キリストの恵みによって自分たちを召してくださった方から、このように急に離れて、ほかの福音に移って行くことに。

ほかの = ◀ 2087. heteros (99 回) ▶ 別の、異なった
アロスは同質だが別の物、ヘテロスは別個の物

黙示録 13:11 また私は、別の獣が地から上って来るのを見た。それは、子羊の角に似た二本の角を持ち、竜が語るように語っていた。

助け主=◀ 3875. paraklétos (パラクレイタス) 5回 ▶傍らに呼ばれたもの、
(RV)consolador (KJV)

Comforter

仲裁者、慰め

る人、助け手、

またこの言葉は古い新改訳聖書、第1ヨハネ 2:1で「弁護者」とも訳される

(改4)第1ヨハ 2:1 私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。しかし、もしだれかが罪を犯したなら、私たちには、御父の前でとりなして下さる方、義なるイエス・キリストがおられます。

(改2)第1ヨハ 2:1 私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。もしだれかが罪を犯したなら、私たちには、御父の御前で弁護して下さる方があります。それは、義なるイエス・キリストです。

パラクレトスの語源は「パラカレオ」

(V) ◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109回 ▶ (V)

呼びかける、勧める、助言する、奨励する、慰める、励ます

パラカレオの語源は para と kaleo

◀ 3844. para 194回 ▶ (前置詞) from、with、by、of、beside、

◀ 2564. kaleó 148回 ▶ (V) 呼ぶ

@その他の派生語

(N) ◀ 3874. paraklésis (パラクレシス) 29回 ▶ (N) 援助、励まし、呼びかけ、慰め、勧め(1コリ 12:8)

(N) ◀ 3875. Paraklétos (パラクレイタス) 5回 ▶ 傍らに呼ばれた者、仲裁者、

慰める人、助け手

14:17 この方は真理の御霊です。世はこの方を見ることも知ることもないので、受け入れることができません。あなたがたは、この方を知っています。この方はあなたがたとともにおられ、また、あなたがたのうちにおられるようになるのです。あ d 2 1 2 1

14:18 わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。あなたがたのところに戻って来ます。

@みなしごの父（詩篇 68 : 5）

14:19 あと少しで、世はもうわたしを見なくなります。しかし、あなたがたはわたしを見ます。わたしが生き、あなたがたも生きることになるからです。

ヨハネ 14:20 その日には、わたしが父のうちに、あなたがたがわたしのうちに、そしてわたしがあなたがたのうちにいることが、あなたがたに分かります。

ヨハネ 14:10 わたしが父のうちにいて、父がわたしのうちにおられることを、信じていないのですか。わたしがあなたがたに言うことばは、自分から話しているのではありません。わたしのうちにおられる父が、ご自分のわざを行っておられるのです

エペソ 2:6 神はまた、キリスト・イエスにあつて、私たちをともによみがえらせ、ともに天上に座らせてくださいました。

第1ヨハネ 4:13 神が私たちに御霊を与えてくださったことによって、私たちが神のうちにとどまり、神も私たちのうちにとどまっておられることが分かります。

14:21

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

14:23 イエスは彼に答えられた。「だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

@第1ヨハネ5:3 神の命令を守ること、それが、神を愛することです。
神の命令は重荷とはなりません。

@第1ヨハネ2:4 神を知っていると言いながら、その命令を守っていない人は、偽り者であり、その人のうちに真理はありません。

14:24

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

14:26 しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。

@助け主 = (R V) consejero

14:26 しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。

助け主 = ◀ 3875. Paraklétos(パラークレトス) 5 回 ▶ 傍らに呼ばれたもの

ヨハネ 14:16 そしてわたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにして下さいます

ヨハネ 14:26 しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせて下さいます。

ヨハ 15:26 わたしが父のもとから遣わす助け主、すなわち、父から出る真理の御霊が来るとき、その方がわたしについて証しして下さいます。

ヨハ 16:7 しかし、わたしは真実を言います。わたしが去って行くことは、あなたがたの益になるのです。去って行かなければ、あなたがたのところに助け主はおいでになりません。でも、行けば、わたしはあなたがたのところに助け主を遣わします。

第1ヨハ 2:1 私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。しかし、もしだれかが罪を犯したなら、私たちには、御父の前でとりなして下さる方、義なるイエス・キリストがおられます。

14:27 わたしはあなたがたに平安を残します。わたしの平安を与えます。わたしは、世が与えるのと同じようには与えません。あなたがたは心を騒がせてはなりません。ひるんではなりません。

14:28

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

14:30 わたしはもう、あなたがたに多くを話しません。この世を支配する者が

来るからです。彼はわたしに対して何もすることができません。

14:31

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

@15 章は 4 節から 10 節の間に 10 回とどまりなさいと書いている

15:1 わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫です。

15:2 わたしの枝で実を結ばないものはすべて、父がそれを取り除き、実を結ぶものはすべて、もっと多く実を結ぶように、刈り込みをなさいます。

15:3 あなたがたは、わたしがあなたがたに話したことばによって、すでにきよいのです。

エペソ 5:26 キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、

15:4 わたしにとどまりなさい。わたしもあなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木にとどまっていなければ、自分では実を結ぶことができないのと同じように、あなたがたもわたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。

つながる = (改 2) とどまる = ◀ 3306. menó (メノー) 118 回 ▶ とどまる、つながる、～のまあい

@「そばに置く」という解釈は根拠が不明。

@4 節～10 節の間に 11 回「とどまる」とある。

原文では 10 回、4 節 3 回、5 節 1 回、6 節 1 回、7 節 2 回、9 節 1 回、10 節 2 回

15:5 わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないのです。

@あなたがた = 教会=枝 「あなた」だったら「個人」=小枝
@私たちがとどまり、キリストもとどまるなら

15:6 わたしにとどまっていなければ、その人は枝のように投げ捨てられて枯れます。人々がそれを集めて火に投げ込むので、燃えてしまいます。

15:7 あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまっているなら、何でも欲しいものを求めなさい。そうすれば、それはかなえられます。

15:8 あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子となることによって、わたしの父は栄光をお受けになります。

なる = ◀ 1096. ginomai (ギノマイ) 671 回 ▶ ~になる。to come into being, to happen, to become

弟子となる = (ギ) 弟子となっていく (未来形)

(ギ) genēsthe (ギリシャ語の時制はわからないが) 第2ペテロ 1:4の「(神の性質にあずかる者と) なるため」とあるので、未来の時制であろう。

II ペテ 1:4 その栄光と栄誉を通して、尊く大いなる約束が私たちに与えられています。それは、その約束によってあなたがたが、欲望がもたらすこの世の腐敗を免れ、神のご性質にあずかる者となるためです。

(NKJ) so you will be My disciples.

(KJV) so shall ye be my disciples.

栄光を受ける＝◀ 1392. doxazó (ドクサヅ) 6 2回▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

15:9 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛にとどまりなさい。

愛された＝◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回▶ 愛する、真の愛で愛する

愛＝◀ 26. agapé (アガペ) 116 回▶ (N) 愛、真の愛

15:10 わたしがわたしの父の戒めを守って、父の愛にとどまっているのと同じように、あなたがたもわたしの戒めを守るなら、わたしの愛にとどまっているのです。

愛＝◀ 26. agapé (アガペ) 116 回▶ (N) 愛、真の愛

愛＝◀ 26. agapé (アガペ) 116 回▶ (N) 愛、真の愛

15:11 わたしの喜びがあなたがたのうちであり、あなたがたが喜びで満ちあふれるようになるために、わたしはこれらのことをあなたがたに話しました。

15:12 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。

@このみ言葉は17節とサンドイッチである。

愛について語る12節、17節との間に「友、命を捨てる、実を結ぶ」について書いている

愛する＝◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回▶ 愛する、真の愛で愛する

愛する＝◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回▶ 愛する、真の愛で愛する

15:13 人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません。

愛 = ◀ 26. agapé (アガペ) 116回 ▶ (N) 愛、真の愛

15:14 わたしが命じることを行うなら、あなたがたはわたしの友です。

@友 = ルカ 12 : 4 (2歴 20 : 7) (イザヤ 41 : 8) (ヤコブ 2 : 23)

15:15 わたしはもう、あなたがたをしもべとは呼びません。しもべなら主人が何をするのか知らないからです。わたしはあなたがたを友と呼びました。父から聞いたことをすべて、あなたがたには知らせたからです。

@会話によって親しさが生まれる

@友の記述

ルカ 12:4 わたしの友であるあなたがたに言います。からだを殺しても、その後はもう何もできない者たちを恐れてはいけません。

第2歴代誌 20:7 私たちの神よ。あなたはこの地の住民をあなたの民イスラエルの前から追い払い、これをとこしえにあなたの友アブラハムのすえに賜ったのではありませんか。

ヤコブ 2:23 そして、「アブラハムは神を信じ、その信仰が彼の義とみなされた。」という聖書のことばが実現し、彼は神の友と呼ばれたのです。

イザヤ 41:8 しかし、わたしのしもべ、イスラエルよ。わたしが選んだヤコブ、わたしの友、アブラハムのすえよ。

15:16 あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命しました。それは、あなたがたが行って実を結び、その実が残るようになるため、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものをすべて、父が与えてくださるようになるためです。

@本当の友は友情によって実が結ばれる

@（1ヨハ4:10-19） 私たちが神を愛したのではなく、、、

15:17 あなたがたが互いに愛し合うこと、わたしはこれを、あなたがたに命じます。

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

(KJV) These things I command you

(ギ) tauta entellomai hymin

@(改2)これが、わたしのあなたがたに与える戒めです。

15:19

愛する = ◀ 5368. phileó (フィレオ) 25回 ▶ 愛する、愛情を持った気づかい、大切にする、キスする

15:23 わたしを憎んでいる者は、わたしの父をも憎んでいます。

15:25 これは、『彼らはゆえもなくわたしを憎んだ』と、彼らの律法に書かれていることばが成就するためです。

ゆえもなく = ◀ 1432. dórean (ドレアン) 9回 ▶ 無料で、無料の贈り物として、目的もなく

@ゆえもなく=(改2)理由もなく

マタ 10:8 病人を癒やし、死人を生き返らせ、ツアラアトに冒された者をきよめ、悪霊どもを追い出しなさい。あなたがたはただで受けたのですから、ただで与えなさい。

ヨハネ 15:25 これは、『彼らはゆえもなくわたしを憎んだ』と、彼らの律法に書かれていることばが成就するためです。

ロマ 3:24 神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、価なしに義と認められるからです。

ガラ 2:21 私は神の恵みを無にはしません。もし義が律法によって得られるとしたら、それこそ、キリストの死は無意味になってしまいます。

黙 22:17 御霊と花嫁が言う。「来てください。」これを聞く者も「来てください」と言いなさい。渇く者は来なさい。いのちの水が欲しい者は、ただで受けなさい。

ヘブライ語でも大体同じ意味

詩 35:19 偽り者の私の敵を私のことで喜ばせないでください。ゆえもなく私を憎む人々が目くばせし合わないようになしてください。

ゆえもなく = ◀ 2600. chinnam 32 回 ▶ただで(Ge29:15)、金を払わないで(Ex 21:11)、何の理由もなく(2サム 19:5)

理由もなく(ヨブ 2:3)、

15:26 わたしが父のもとから遣わす助け主、すなわち、父から出る真理の御霊

が来るとき、その方がわたしについて証ししてくださいます。

15:27 あなたがたも証しします。初めからわたしと一緒にいたからです。

16:2 人々はあなたがたを会堂から追放するでしょう。実際、あなたがたを殺す者がみな、自分は神に奉仕していると思う時が来ます。

礼拝= ◀ 2999. latreia (ラトラーヤ) 5回 ▶ (N) 礼拝、神に仕えること、神殿での奉仕

(NKJ)(KJV) the service of God

ヨハ 16:2 人々はあなたがたを会堂から追放するでしょう。実際、あなたがたを殺す者がみな、自分は神に奉仕していると思う時が来ます。

ロマ 9:4 彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法の授与も、礼拝も、約束も彼らのものです

ロマ 12:1 ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。

ヘブル 9:1 さて、初めの契約にも、礼拝の規定と地上の聖所がありました。

ヘブル 9:6 さて、これらの物が以上のように整えられたうえで、祭司たちはいつも第一の幕屋に入って、礼拝を行います。

16:3 彼らがそういうことを行うのは、父もわたしも知らないからです。

@旧約で民が神を父と呼ぶことは書かれていた (エレミヤ 3:19)、また、わたしは、あなたがたを父と呼び

16:8 その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世の誤り

を明らかになさいます。

@罪についての預言は語らない。御霊に語らせるべきである。

16:9 **罪について**というのは、彼らがわたしを信じないからです。

16:10 **義について**とは、わたしが父のもとに行き、あなたがたがもはやわたしを見なくなるからです。

16:11 **さばきについて**とは、この世を支配する者が**さばかれた**からです。

さばかれた=(ギ) kekritai (現在完了形) = (NAS) has been judged (ただし KJV は過去形)

@同じ時制がヨハネ 3:18 の「信じない者はすでにさばかれている。」です。ただし、この節では「すでに」という言葉を伴って強調が入っている。

16:11 さばきについてとは、**この世を支配する者**がさばかれたからです。

ヨハ 12:31 今、この世に対するさばきが行われ、今、**この世を支配する者**が追い出されます。

ヨハ 16:11 さばきについてとは、**この世を支配する者**がさばかれたからです。

第1ヨハネ 5:19 私たちは神に属していますが、**世全体は悪い者の支配下にある**ことを、私たちは知っています。

16:13 しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導いてくださいます。御霊は自分から語るのではなく、聞いたことをすべて語り、これから起こることをあなたがたに伝えてくださいます。

@御霊が啓示 (1 コリ 2:10) 2:10 それを、神は私たちに御霊によって啓示してくださいました。御霊はすべてのことを、神の深みさえも探られるからです。。

16:14 御霊はわたしの栄光を現されます。わたしのものを受けて、あなたがたに伝えてくださるのです。

栄光を現す= ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

@御霊の働きはキリストの栄光をあらわすこと。御霊が賛美を受けたり、祈られる対象ではない。

16:20 まことに、まことに、あなたがたに言います。あなたがたは泣き、嘆き悲しむが、世は喜びます。あなたがたは悲しみます。しかし、あなたがたの悲しみは喜びに変わります。

16:21 女は子を産むとき、苦しみます。自分の時が来たからです。しかし、子を産んでしまうと、一人の人が世に生まれた喜びのために、その激しい痛みをもう覚えていません。

16:22 あなたがたも今は悲しんでいます。しかし、わたしは再びあなたがたに会います。そして、あなたがたの心は喜びに満たされます。その喜びをあなたがたから奪い去る者はありません。

16:24 今まで、あなたがたは、わたしの名によって何も求めたことがありません。求めなさい。そうすれば受けます。あなたがたの喜びが満ちあふれるようになるためです。

16:26 その日には、あなたがたはわたしの名によって求めます。あなたがたに代わってわたしが父に願う、と言うものではありません。

16:27 父ご自身があなたがたを愛しておられるのです。あなたがたがわたしを愛し、わたしが神のもとから出て来たことを信じたからです。

愛する=◀ 5368. phileó (フィレオ) 25回 ▶愛する、愛情を持った気づかい、大切に作る、キスする

16:28 わたしは父のもとから出て、世に来ましたが、再び世を去って、父のもとに行きます。」

16:29 弟子たちは言った。「本当に、今あなたははっきりとお話くださり、何もたとえでは語られません。

16:30 あなたがすべてをご存じであり、だれかがあなたにお尋ねする必要もないことが、今、分かりました。ですから私たちは、あなたが神から来られたことを信じます。」

あなたが神から来られたことを信じます=@ 3年たってやっとわかった

16:31 イエスは彼らに答えられた。「あなたがたは今、信じているのですか。」

16:33 これらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあつて平安を得るためです。世にあつては苦難があります。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました。」

第1ヨハネ 5:4 神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。

ヨハネ 14:27 わたしはあなたがたに平安を残します。わたしの平安を与えます。わたしは、世が与えるのと同じようには与えません。あなたがたは心を騒がせてはなりません。ひるんではなりません。

17:1 これらのことを話してから、イエスは目を天に向けて言われた。「父よ、時が来ました。子があなたの栄光を現すために、子の栄光を現してください。

@父という名はキリストによって初めて明らかにされた、その関係も

栄光を現す= ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

17:2 あなたは子に、すべての人を支配する権威を下さいました。それは、あなたが下さったすべての人に、子が永遠のいのちを与えるためです。

人= ◀ 4561. sarx (サルクス) 149回 ▶ 体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

@すべての人=信者、未信者を問わず

17:3 永遠のいのちとは、唯一のまことの神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知ることです。

17:4 わたしが行うようにと、あなたが与えてくださったわざを成し遂げて、わたしは地上であなたの栄光を現しました。

17:5 父よ、今、あなたご自身が御前でわたしの栄光を現してください。世界が始まる前に一緒に持っていたあの栄光を。

世界が始まる前=(改2)世界が存在する前

@私と父はひとつ（ヨハネ 10:30） わたしと父とは一つです。」

栄光を現す= ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

17:9 わたしは彼らのためにお願いします。世のためにではなく、あなたがわたしに下さった人たちのためにお願いします。彼らはあなたのものでありますから。

@信仰がなくならないように祈った

17:10 わたしのものはすべてあなたのもので、あなたのものはわたしのもので。わたしは彼らによって栄光を受けました。

栄光を現す= ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

よって= ◀ 1722. en (エン) 2777 回▶ Definition: in, on, at, by, with. Usage: in, on, among.

(NAS)(KJV)などほとんどすべての主要英語訳は「～の中で」と訳している。

@父はキリストによって栄光を受け、子はわれわれによって栄光を受ける

@子が父の

14:13 またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、それをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。

17:1・・・「父よ。時が来ました。あなたの子があなたの栄光を現わすために、子の栄光を現わしてください。

17:4 わたしが行うようにと、あなたが与えてくださったわざを成し遂げて、わたしは地上でああなたの栄光を現しました。

@我々が子の

17:10 わたしのものはすべてあなたのも、あなたのもはわたしのもです。わたしは彼らによって栄光を受けました。

@我々が、キリストを、父の

15:8 あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子となることによって、わたしの父は栄光をお受けになるのです。

@御霊が子の

16:14 御霊はわたしの栄光を現わします。わたしのもを受けて、あなたがたに知らせるからです。

@キリストは私たち内におられる御霊によって栄光を受ける。

ヨハネ 5:41 わたしは人からの栄誉は受けません。

ヨハネ 16:14 御霊はわたしの栄光を現されます。わたしのもを受けて、あなたがたに伝えてくださるのです。

ヨハネ 5:44 互いの間では栄誉を受けても、唯一の神からの栄誉を求めないあなたがたが、どうして信じることができるのでしょうか。

@主を賛美できる人は唯一の神からの栄誉を求める人

17:11 わたしはもう世になくなります。彼らは世にいますが、わたしはあなたのもとに参ります。聖なる父よ、わたしに下さったあなたの御名によって、彼らをお守りください。わたしたちと同じように、彼らが一つになるためです。

御名によって=(改 2)御名の中に

よって= ◀ 1722. en (エン) 2777 回 ▶ Definition: in, on, at, by, with. Usage:

in, on, among.

(NAS)in your name (～によって、～の中で) (NKJ)through Your name (～を通じて)

@10 節と同じ単語なので、「～によって」でよいはずだが、(改 2)の「御名の中に」のほうが良いと思う。

御名の中に救いがあるからです。

なぜなら「わたしに下さったあなたの御名」すなわち「イエス=Yehoshua」の意味は「ヤーウエーは救い」

[יהושע]イエホシャ=[יהוה]+[ישועה]

17:15 わたしがお願いすることは、あなたが彼らをこの世から取り去ることではなく、悪い者から守ってくださることです。

(第1 コリ 5:10) それは、この世の淫らな者、貪欲な者、奪い取る者、偶像を拝む者と、いっさい付き合わないようにという意味ではありません。そうだとしたら、この世から出て行かなければならないでしょう。

17:17 真理によって彼らを聖別してください。あなたのみことばは真理です。

17:18 あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わしました。

17:19 わたしは彼らのため、わたし自身を聖別します。彼ら自身も真理によって聖別されるためです。

17:20 わたしは、ただこの人々のためだけでなく、**彼らのことばによってわたしを信じる人々**のためにも、お願いします。

17:21 父よ。あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるよ

うに、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちのうちにいるようにしてください。あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるようになるためです。

(改 2) 17:21 それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにいるように、彼らがみな一つとなるためです。また、彼らもわたしたちにおるようになるためです。そのことによって、あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるためなのです。

@、彼らが一つとなる・・・ことによって、世が信じる。

17:22 またわたしは、あなたが下さった栄光を彼らに与えました。わたしたちが一つであるように、彼らも一つになるためです。

17:23 わたしは彼らのうちにて、あなたはわたしのうちにおられます。彼らが完全に一つになるためです。また、あなたがわたしを遣わされたことと、わたしを愛されたように彼らも愛されたことを、世が知るためです。

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

@これらの箇所では強調されていることは「信者が互いに愛し合う」その見本によって神のご性質が世に示される。

@互いに愛し合うなら、(1ヨハ 4:12) 神の愛が全うされる

17:24 父よ。わたしに下さったものについてお願いします。わたしがいるところに、彼らもわたしとともにいるようにしてください。わたしの栄光を、彼らが見るためです。世界の基が据えられる前からわたしを愛されたゆえに、あなたがわたしに下さった栄光を。

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

@未来に対する予約の祈り

17:26 わたしは彼らにあなたの御名を知らせました。また、これからも知らせます。あなたがわたしを愛してくださった愛が彼らのうちにあり、わたしも彼らのうちにいるようにするためです。」

愛 = ◀ 26. agapé (アガペ) 116 回 ▶ (N) 愛、真の愛

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

ヨハネ 15:13 人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません。

18:1 これらのことを話してから、イエスは弟子たちとともに、キデロンの谷の向こうに出て行かれた。そこには園があり、イエスと弟子たちは中に入られた。

キデロン = 「濁った」の意味

谷 = ◀ 5493. cheimarros (ハイマラス) 1 回 ▶ (改 2)川筋、(RV) torrente(激流)

18:5 彼らは「ナザレ人イエスを」と答えた。イエスは彼らに「わたしがそれだ」と言われた。イエスを裏切ろうとしていたユダも彼らと一緒に立っていた。

18:6 イエスが彼らに「わたしがそれだ」と言われたとき、彼らは後ずさりし、地に倒れた。

18:8 イエスは答えられた。「わたしがそれだ、と言ったではないか。わたしを捜しているのなら、この人たちは去らせなさい。」

それはわたしだ(わたしがそれだ) = (改 2)それはわたしです @ 「それは」は

原語にはない

わたしがそれだ = いずれも
= (ギ) ego eimi
= (NAS) I am He
= (KJV) I am he
= (NKJ) I am He

@ego eimi が登場する箇所

ヨハネ 8:24 それで、あなたがたは自分の罪の中で死ぬと、あなたがたに言ったのです。わたしが『わたしはある』であることを信じなければ、あなたがたは、自分の罪の中で死ぬことになるからです。

ヨハネ 8:28 そこで、イエスは言われた。「あなたがたが人の子を上げたとき、そのとき、わたしが『わたしはある』であること、また、わたしが自分からは何もせず、父がわたしに教えられたとおりに、これらのことを話していたことを、あなたがたは知るようになります。

ヨハネ 8:58 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。アブラハムが生まれる前から、『わたしはある』なのです。」

ヨハネ 18:5 彼らは「ナザレ人イエスを」と答えた。イエスは彼らに「わたしがそれだ」と言われた。イエスを裏切ろうとしていたユダも彼らと一緒に立っていた。

ヨハネ 18:6 イエスが彼らに「わたしがそれだ」と言われたとき、彼らは後ずさりし、地に倒れた。

ヨハネ 18:8 イエスは答えられた。「わたしがそれだ、と言ったではないか。わたしを捜しているのなら、この人たちは去らせなさい。」

18:27 ペテロは再び否定した。すると、すぐに鶏が鳴いた。

@ (マタイ 26 : 75) 激しく泣いた

18:31 そこで、ピラトは言った。「おまえたちがこの人を引き取り、自分たちの律法にしたがってさばくがよい。」ユダヤ人たちは言った。「私たちはだれも死刑にすることが許されていません。」

18:32 これは、イエスがどのような死に方をするかを示して言われたことばが、成就するためであった。

この数ヶ月前に、ユダヤ人の手で死刑にできないという法律ができた。もし死刑権があったら、十字架ではなく石打ちであっただろう。それでは木にかけられるという預言 (申命記 21 : 23) 異邦人の手に渡されるという預言 (マタイ 20:19) が成就しない。

マタ 20:19 異邦人に引き渡します。嘲り、むちで打ち、十字架につけるためです。しかし、人の子は三日目によみがえります。」

ガラテア 3:13 キリストは、ご自分が私たちのためにのろわれた者となることで、私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。「木にかけられた者はみな、のろわれている」と書いてあるからです。

18:38 ピラトはイエスに言った。「真理とは何なのか。」こう言ってから、再びユダヤ人たちのところに出て行って、彼らに言った。「私はあの人に何の罪も認めない。

19:1 それでピラトは、イエスを捕らえてむちで打った。

@そこで・・・つまり、人々がイエスの釈放を願わないので、

19:7 ユダヤ人たちは彼に答えた。「私たちには律法があります。その律法によれば、この人は死に当たります。自分を神の子としたのですから。」

19:8 ピラトは、このことばを聞くと、ますます恐れを覚えた。

@「神の子」という言葉を聴いたゆえに恐れた。

@我々が恐れないうちに敵が恐れる

19:11 イエスは答えられた。「上から与えられていなければ、あなたにはわたしに対して何の権威もありません。ですから、わたしをあなたに引き渡した者に、もっと大きな罪があるのです。

19:12 ピラトはイエスを釈放しようと努力したが、ユダヤ人たちは激しく叫んだ。「この人を釈放するのなら、あなたはカエサルの友ではありません。自分を王とする者はみな、カエサルに背いています。」

(ギ) 文頭に「ek toutou」(ἐκ τούτου)(エク・トゥトゥウ)= (改 2) こういうわけで、(口) これを聞いて

(KJV)and from thenceforth、(NAS) As a result of this、(NKJ)From then on

19:14 その日は過越の備え日で、時はおよそ第六の時であった。ピラトはユダヤ人たちに言った。「見よ、おまえたちの王だ。」

見よ=(改 2)さあ

おまえたちの王だ=預言的な宣言=未信者も何気なく預言することがある。

マタ 27:19 ピラトが裁判の席に着いているときに、彼の妻が彼のもとに人を遣わして言った。「あの正しい人と関わらないでください。あの人のことで、私は今日、夢でたいへん苦しい目にあいましたから。」

ヨハネ 11:50 一人の人が民に代わって死んで、国民全体が減びないですむほうが、自分たちにとって得策だということを、考えてもいない。」

11:51 このことは、彼が自分から言ったのではなかった。彼はその年の大祭司であったので、イエスが国民のために死のうとしておられること、

11:52 また、ただ国民のためだけでなく、散らされている神の子らを一つに集めるためにも死のうとしておられることを、預言したのである。

19:15 彼らは叫んだ。「除け、除け、十字架につける。」ピラトは言った。「おまえたちの王を私が十字架につけるのか。」祭司長たちは答えた。「カエサルのほかには、私たちに王はありません。」

@私が自分で命を捨てる (ヨハネ 16 : 17)

十字架につける = ◀ 4717. stauroó (スタラオ) 46 回 ▶ (BLB) to stake, drive down stakes

(BLB) to fortify with

driven stakes, to palisade

(BLB) to crucify

聖書には「十字架につける」という意味でしか出てこないが、その意味は杭を打つ、すなわち手足にくぎを刺すことを意味した刑罰のことである。

19:16 ピラトは、イエスを十字架につけるため彼らに引き渡した。彼らはイエスを引き取った。

19:17 イエスは自分で十字架を負って、「どくろの場所」と呼ばれるところに出て行かれた。そこは、ヘブル語ではゴルゴタと呼ばれている。

19:19 ピラトは罪状書きも書いて、**十字架**の**上**に掲げた。それには「ユダヤ人の王、ナザレ人イエス」と書かれていた。

十字架=◀ 4716. stauros (σ τ α υ ρ ό ς)(スタウラース) 27回▶(HUB)直立した棒、ローマの死刑の道具 ("十字架")

上に=(ギ)epi=◀ 1909. epi (エピ) 896回▶~の上に、~の上方に、~に対して、~に

@イエスの頭上 (ルカ 23:38)

19:20 イエスが十字架につけられた場所は都に近かったので、多くのユダヤ人がこの罪状書きを読んだ。それはヘブル語、ラテン語、ギリシア語で書かれていた。

@国々に宣言

19:26 イエスは、母とそのそばにいる愛する弟子とを見て、母に、「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」と言われた。

愛する=◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回▶愛する、真の愛で愛する

19:28 それから、イエスはすべてのことが完了したのを知ると、聖書が成就する**ために**、「わたしは渇く」と言われた。

詩 22:15 私の力は土器のかけらのように乾ききり舌は上あごに貼り付いています。死のちりの上にあなたは私を置かれます。

19:29 酸いぶどう酒がいっぱい入った器がそこに置いてあったので、兵士たちは、酸いぶどう酒を含んだ海綿をヒソプの枝に付けて、イエスの口もとに差し出した。

詩 69:21 彼らは私の食べ物の代わりに毒を与え私が渴いたときには酔を飲ませました。

19:30 イエスは酸いぶどう酒を受けると、「完了した」と言われた。そして、頭を垂れて霊をお渡しになった

完了する = 「テテレスタイ」 Tetelestai) = ◀ 5055. teleó 28 回 ▶ 終える、成し遂げる

黙示録 21:6 また私に言われた。「事は成就した」。わたしはアルファであり、オメガである。初めであり、終わりである。わたしは渴く者に、いのちの水の泉からただで飲ませる。

19:33 イエスのところに来ると、すでに死んでいるのが分かったので、その脚を折らなかった。

@ (出エジプト記 12:46) の成就

12:46 これは一つの家の中で食べなければならない。あなたは家の外にその肉の一切れでも持ち出してはならない。また、その骨を折ってはならない。

19:34 しかし兵士の一人は、イエスの脇腹を槍で突き刺した。すると、すぐに血と水が出て来た。

ゼカリヤ 12:10 わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと嘆願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見て、ひとり子を失って嘆くかのように、その者のために嘆き、長子を失って激しく泣くかのように、その者のために激しく泣く。

レビ 14:5 祭司は、その小鳥のうちの一羽を、新鮮な水を入れた土の器の上で殺すように命じる。

14:6 そして、生きている小鳥を、杉の枝と緋色の撚り糸とヒソプとともに取り、それらをその生きている小鳥と一緒に、新鮮な水の上で殺された小鳥の血の中に浸す。

19:35 これを目撃した者が証ししている。それは、あなたがたも信じるようになるためである。その証しは真実であり、その人は自分が真実を話していることを知っている。

@この文章が強調しているのは、十字架についてだけでなく、血と水が出たことによるのではないか？

ヨハネにはこだわりがあった。

第1ヨハネ 5:8 御霊と水と血です。この三つは一致しています。
御霊と水と血=(水=誕生、血=贖い、御霊=復活(ローマ 8:11))

19:37 また聖書の別のところで、「彼らは自分たちが突き刺した方を仰ぎ見る」と言われているからである。

19:38 その後で、イエスの弟子であったが、ユダヤ人を恐れてそれを隠していたアリマタヤのヨセフが、イエスのからだを取り降ろすことをピラトに願い出た。ピラトは許可を与えた。そこで彼はやって来て、イエスのからだを取り降

ろした。

20:2

愛する=◀ 5368. phileó (フィレオ) 25回 ▶愛する、愛情を持った気づかい、大切にする、キスする

20:4 二人は一緒に走ったが、もう一人の弟子がペテロよりも速かったので、先に墓に着いた。

@もうひとりの弟子=ヨハネ、ヨハネはいつもイエスの近くで彼の鼓動を感じていた

ヨハネ 13:23 弟子の一人がイエスの胸のところで横になっていた。イエスが愛しておられた弟子である。

13:24 そこで、シモン・ペテロは彼に、だれのことを言われたのか尋ねるように合図した。

13:25 その弟子はイエスの胸元に寄りかかったまま、イエスに言った。「主よ、それはだれのことですか。」

20:9 彼らは、イエスが死人の中からよみがえらなければならないという聖書を、まだ理解していなかった。

@多くの場合聖書を読んでも理解できないが、それは起こる。

20:11 一方、マリアは墓の外にたたずんで泣いていた。そして、泣きながら、からだをかがめて墓の中をのぞき込んだ。

@ (悲しみ)

20:17 イエスは彼女に言われた。「わたしにすがりついてはいけません。わたしはまだ父のもとに上っていないのです。わたしの兄弟たちのところに行って、『わたしは、わたしの父であり、あなたがたの父である方、わたしの神であり、あなたがたの神である方のもとに上る』と伝えなさい。」

@へりくだり

20:19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちがいたところでは、ユダヤ人を恐れて戸に鍵がかけられていた。すると、イエスが来て彼らの真ん中に立ち、こう言われた。「平安があなたがたにあるように。」

@週の初めの日＝日曜日

。

ヨハネ 20:21 イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父がわたしを遣わされたように、わたしもあなたがたを遣わします。」

@別の単語

遣わした＝◀ 649. apostelló (アパステロ) (133回) ▶送る、メッセンジャーとして遣わす

遣わします＝◀ 3992. pempó (ペンポー) (79回) ▶送る

@再生産＝使徒がする働き

ヨハネ 13:16 まことに、まことに、あなたがたに言います。しもべは主人にまさらず、遣わされた者は遣わした者にまさりません。

ヘブル 3:1 ですから、天の召しにあずかっている聖なる兄弟たち。私たちが告白する、使徒であり大祭司であるイエスのことを考えなさい。

20:22 こう言うてから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。

こう言うてから=(ギ)kai touto epion =(KJV) And when he had said this

20:21 で「遣わします」といわれて、「そして」が続く。遣わしと武装（聖霊）は関係がある

20:23 あなたがたがだれかの罪を**赦す**なら、その人の罪は**赦され**ます。赦さずに残すなら、そのまま残ります。」

「赦さずに残す」の「赦さずに」は補足。(ギ)では単に「もしあなたが残すなら残る」

赦す=◀ 863. aphíemi (アフィアミ) 146 回▶(HUB) 送る、放っておく、許可する

(BLB)去らせる、期限切れにする、無視する、省略する、許す、赦す

残す=◀ 2902. krateó (カラティオ) 47 回▶(HUB)力を持つ、力強くなる、マスターする、支配する、つかむ、開催する、手荷物、保持する、

(ギの原文)

あなたがたのだれかが罪を(アフィアミ)するなら、それらは(アフィアミ)され、あなたがたのだれかが(カラティオ)するなら、(カラティオ)されます。」

(RV) A quienes remitiereis los pecados, les son remitidos; y a quienes se los retuviereis, les son retenidos.

(岡田の解釈)

あなた方が **the sins** (誰かの罪) を赦すなら、それ(赦したその人の

罪)は赦され、(誰かの罪を赦さずに) 保持するなら、それ(その人の罪も)は残ります。

ルカ 6:37 さばいてはいけません。そうすれば、あなたがたもさばかれません。人を不義に定めてはいけません。そうすれば、あなたがたも不義に定められません。赦しなさい。そうすれば、あなたがたも赦されます。

20:24 十二弟子の一人で、デドモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。

@時々出席だったので機会を逃した

20:25 そこで、ほかの弟子たちは彼に「私たちは主を見た」と言った。しかし、トマスは彼らに「私は、その手に釘の跡を見て、釘の跡に指を入れ、その脇腹に手を入れてみなければ、決して信じません」と言った。

@ (疑い)

20:26 八日後、弟子たちは再び家の中におり、トマスも彼らと一緒にいた。戸には鍵がかけられていたが、イエスがやって来て、彼らの真ん中に立ち、「平安があなたがたにあるように」と言われた。

@ (恐れ)

@ピリポもワープした (使徒 8:39)

20:27 それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしの脇腹に入れなさい。**信じない者**ではなく、信じる者になりなさい。」

信じない者= ◀ 571. apistos (アピスタス) 23回 ▶ (A) 不信仰な、信じない、(N) 未信者

20:28 トマスはイエスに答えた。「私の主、私の神よ。」

20:29 イエスは彼に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。
見ないで信じる人たちは幸いです。」

20:30 イエスは弟子たちの前で、ほかにも多くのしるしを行われたが、それらはこの書には書かれていない。

20:31 これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるためであり、また信じて、イエスの名によっていのちを得るためである。

@聖書が書かれた理由

ヨハ 8:24 それで、あなたがたは自分の罪の中で死ぬと、あなたがたに言ったのです。わたしが『わたしはある』であることを信じなければ、あなたがたは、自分の罪の中で死ぬことになるからです。」

ヨハ 17:3 永遠のいのちとは、唯一のまことの神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知ることです。

I ヨハ 4:15 だれでも、イエスが神の御子であると告白するなら、神はその人のうちにとどまり、その人も神のうちにとどまっています。

21:3 シモン・ペテロが彼らに「私は漁に行く」と言った。すると、彼らは「私たちも一緒に行く」と言った。彼らは出て行って、小舟に乗り込んだが、その夜は何も捕れなかった。

21:6 イエスは彼らに言われた。「舟の右側に網を打ちなさい。そうすれば捕れます。」そこで、彼らは網を打った。すると、おびただしい数の魚のために、もはや彼らには網を引き上げることができなかった。

@従順を試している

@一見単純な作業ですがかなりの重労働

21:7

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

21:11 シモン・ペテロは舟に乗って、網を陸地に引き上げた。網は 百五十三 匹の大きな魚でいっぱいであった。それほど多かったのに、網は破れていなかった。

@ 1 5 3 = 三角数) 1 ~ 1 7 までの整数を全部足した数である。

$1+2+3+4+5+6+7+8+9+10+11+12+13+14+15+16+17=153$

● 聖書の書物数 —— 6 6

● ペンテコステの日に二階座敷に 集まっていた弟子達の数 (使徒 1・1 5)
—— 1 2 0

● 難破した船でパウロと共に救わ れた人々の数 (使徒 2 7・3 6) —— 2
7 6

● ノアの箱舟の長さ (創世 6・1 5) —— 3 0 0 (キュビト)

● 患難時代の独裁者「獣」を現わ す数 (黙示 1 3・1 8) —— 6 6 6

$1!=1$ $= 1$

$$2! = 1 \times 2 = 2$$

$$3! = 1 \times 2 \times 3 = 6$$

$$4! = 1 \times 2 \times 3 \times 4 = 24$$

$$5! = 1 \times 2 \times 3 \times 4 \times 5 = 120$$

であり、 $1! + 2! + 3! + 4! + 5! = 153$

となる。このように153は、非常にまれな数であることがわかる。

また、153を逆さまに読んだ351も、153と同様、三角数なのである。

351は26番目の三角数である。

@ 153は三分の一を象徴している

ゼカリヤ 13:8 全地はこうなる——【主】のことば——。その三分の二は断たれ、死に絶え、三分の一がそこに残る。

13:9 わたしはその三分の一を火の中に入れ、銀を錬るように彼らを錬り、金を試すように彼らを試す。彼らはわたしの名を呼び、わたしは彼らに答える。わたしは『これはわたしの民』と言い、彼らは『【主】は私の神』と言う。」

黙示録 9:15 すると、その時、その日、その月、その年のために用意されていた、四人の御使いが解き放たれた。人間の三分の一を殺すためであった。

@ 8はイエスの数

「8」は、イエス・キリストに深く関連した数字なのである。なぜなら、「イエス」というギリシャ語のゲマトリアは888である。

イエス Ιησους (イエスース) $10+8+200+70+400+200=888$

21:15 彼らが食事を済ませたとき、イエスはシモン・ペテロに言われた。「ヨ

ハネの子シモン。あなたは、この人たちが愛する以上に、わたしを愛していますか。」ペテロは答えた。「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの子羊を飼いなさい。」

愛して (イエス=◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回▶愛する、

愛する (ペテロ=◀ 5368. phileó (フィレオ) 25 回 ▶愛する、愛情を持った気づかい、大切にする、キスする

21:16 イエスは再び彼に「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛していますか」と言われた。ペテロは答えた。「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を牧しなさい。」

愛する=◀ 5368. phileó (フィレオ) 25 回 ▶愛する、愛情を持った気づかい、大切にする、キスする

@イエスの質問＝「アガパオー」

@ペテロの答え＝「フィレオー」

21:17 イエスは三度目^もペテロに、「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛して(5368)いますか」と言われた。ペテロは、イエスが三度目^も「あなたはわたしを愛して(5368)いますか」と言われたので、心を痛めてイエスに言った。「主よ、あなたはすべてをご存じです。あなたは、私があなたを愛して(5368)いることを知っておられます。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」

@誤訳

三度目も=(ギ)三度目に◀ 5154. tritos (トリイタス) 56 回▶(A)三番目

(改 4) 三度目も、三度目も。(改 2)三度、三度。(口) 三度目に、三度も。(共) 三度目に、三度目も

(KJV) the third time 、 the third time (NAS) the third time, the third time。

愛する=◀ 5368. phileó (フィレオ) 25 回 ▶愛する、愛情を持った気づかい、大切にする、キスする

愛する=◀ 5368. phileó (フィレオ) 25 回 ▶愛する、愛情を持った気づかい、大切にする、キスする

愛する=◀ 5368. phileó (フィレオ) 25 回 ▶愛する、愛情を持った気づかい、大切にする、キスする

■ 愛の種類についての教えは間違い。

アガペ	神の愛
ストケ	両親の愛
フィレオ	友情の愛
エロス	求める愛
<input type="text"/>	性欲の愛

アガペの意味を「神の愛」「無条件の愛」と教えられることがあるが、それは正確ではありません。

というのもギリシャ語のアガピ (アガペ) の意味は「愛」で日本語の意味とほとんど同じだからです。

■ギリシャ語の愛の定義 WIKI

(<https://el.wikipedia.org/wiki/%CE%91%CE%B3%CE%AC%CF%80%CE%B7>)

A γ á π η アガピ

アガペは強い愛情と個人的なコミットメントの 感覚です。 [1] 哲学では、アガペは人間の優しさ、思いやり、愛情を表す美德です。アガペは多くの宗教の中心にあります（キリスト教のフレーズ、「愛のための神」による）、または初期キリスト教徒の共通の焦点であるアガペ(=聖餐式)でもあります。 [2] アガペはまた、他人を思いやりのある行動と表現することもできます。 [3] または、愛情に基づく他者に対する行動。 [3]

アガペという言葉は、多くの美しい感情、状況、行動を指します。これらの感情は、ロマンティックなアガペ（エロス）への欲求、フィリア(友情)を定義するプラトニックなアガペ、 [4] 親族を持つ人々との家族アガペ、さらには宗教的なアガペと献身(loyalty)にまで及びます。 [5] 言葉のこの多種多様な使用と意味は、関与する感情の複雑さと相まって、他の感情状態と比較してアガペを定義することを難しくしています。

アガペは、さまざまな形で、対人関係の動機であり、その大きな心理的意義のため、芸術で最も頻繁に使用されるインスピレーションのテーマの1つです。

■矛盾するアガパオとフィレオ

@神の愛がフィレオの箇所

ヨハネ 5:20 それは、父が子を愛し、ご自分がすることをすべて、子にお示しになるからです。また、これよりも大きなわざを子にお示しになるので、あなたがたは驚くことになります。(フィレオ)

ヨハネ 11:3 姉妹たちは、イエスのところに使いを送って言った。「主よ、ご覧ください。あなたが愛しておられる者が病気です。」(フィレオ)

ヨハネ 11:36 ユダヤ人たちは言った。「ご覧ください。どんなにラザロを愛しておられたことか。」(フィレオ)

ヨハネ 21:17 イエスは三度目もペテロに、「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛して(5368)いますか」と言われた。ペテロは、イエスが三度目も「あなたはわたしを愛して(5368)いますか」と言われたので、心を痛めてイエスに言った。「主よ、あなたはすべてをご存じです。あなたは、私があなたを愛して(5368)いることを知っておられます。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を飼いなさい。(フィレオ)
(誤訳)

@ 人からの神への愛

I コリ 16:22 主を愛さない者はみな、のろわれよ。主よ、来てください。(フィレオ)

@人間の愛がアガペの箇所

マタイ 5:46 自分を愛してくれる人を愛したとしても、あなたがたに何の報いがあるのでしょうか。取税人でも同じことをしていませんか。(アガパオ)

ルカ 11:43 わざわいだ、パリサイ人。おまえたちは会堂の上席や、広場であいさつされることが好きだ。(アガペ)

21:18 まことに、まことに、あなたに言います。あなたは若いときには、自分で帯をして、自分の望むところを歩きました。しかし年をとると、あなたは両手を伸ばし、ほかの人があなたに帯をして、望まないところに連れて行きます。」

21:19 イエスは、ペテロがどのような死に方で神の栄光を現すかを示すために、こう言われたのである。こう話してから、ペテロに言われた。「わたしに従いなさい。」

栄光を現す＝◀ 1392. doxazó (ドクサヅ) 6 2回▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

21:20 ペテロは振り向いて、イエスが愛された弟子がついて来るのを見た。この弟子は、夕食の席でイエスの胸元に寄りかかり、「主よ、あなたを裏切るのはだれですか」と言った者である。

愛する＝◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回▶ 愛する、真の愛で愛する

胸元に寄りかかり＝(改 2)右側にいて ×

寄りかかり＝◀ 377. anapító (アナペット) 12回▶ 横たえる、寄りかかる、食卓に着く、座る。ほぼすべて食事の意味、

聖書の中では、食事のために身を寄りかかる意味のみとして使用されている。例外は、野外での給食の時に「座る」と訳されるが、それも食事の時と理解するなら、そうである。

ちなみに一般的な意味での「座る」は◀ 2523. kathizó (カティゾ) 46回▶ あ

るいは◀ 2521. kathémai (カセマイ) 91 回▶、◀ 2516. kathezomai (カテゾマイ) 7 回▶である。その違いはよくわからない。

21:21 ペテロは彼を見て、「主よ、この人はどうなのですか」とイエスに言った。

21:22 イエスはペテロに言われた。「わたしが来るときまで彼が生きるように、わたしが望んだとしても、あなたに何の関わりがありますか。あなたは、わたしに従いなさい。」

@主は一人一人に計画を持っている

@理那は理那をほめたり、親子で親密なときを持っているとよくサミについて話をした。

21:23 それで、その弟子は死なないという話が兄弟たちの間に広まった。しかし、イエスはペテロに、その弟子は死なないと言われたのではなく、「わたしが来るときまで彼が生きるように、わたしが望んだとしても、あなたに何の関わりがありますか」と言われたのである。

21:24 これらのことについて証しし、これらのことを書いた者は、その弟子である。私たちは、彼の証しが真実であることを知っている。

21:25 イエスが行われたことは、ほかにもたくさんある。その一つ一つを書き記すなら、世界もその書かれた書物を収められないと、私は思う。

愛関係は別にファイルがあります。

.....

■ 愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

。

マタイ

マタ 5:46 自分を愛してくれる人を愛したとしても、あなたがたに何の報いがあるでしょうか。取税人でも同じことをしているではありませんか。(アガペ)

マタ 6:24 だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛することになるか、一方を重んじて他方を軽んじることになります。あなたがたは神と富とに仕えることはできません。(アガペ)

マルコ 10:21 イエスは彼を見つめ、いつくしんで言われた。「あなたに欠けていることが一つあります。帰って、あなたが持っている物をすべて売り払い、貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つことになります。そのうえで、わたしに従って来なさい。」(アガペ)

ルカ 6:32 自分を愛してくれる者たちを愛したとしても、あなたがたにどんな恵みがあるでしょうか。罪人たちでも、自分を愛してくれる者たちを愛しています。(アガペ)

ルカ 7:5 私たちの国民を愛し、私たちのために自ら会堂を建ててくれました。」(アガペ)

。

ルカ 7:42 彼らは返すことができなかつたので、金貸しは二人とも借金を帳消しにしてやった。それでは、二人のうちのどちらが、金貸しをより多く愛するようになるでしょうか。」(アガペ)

ルカ 11:43 わざわいだ、パリサイ人。おまえたちは会堂の上席や、広場であいさつされることが好きだ。(アガペ)

@マタイ 23:6 宴会では上座を、会堂では上席を好み、(好み=ストルゲ)

ヨハネ 3:19 そのさばきとは、光が世に来ているのに、自分の行いが悪いため、人々が光よりも闇を愛したことである。(アガペ)

.....

■ 愛 = ◀ 26. agapé (アガペ) 116 回 ▶ (N) 愛、真の愛

24:12 不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えます。

■■■■ フィロ関係

◀ 5358. philagathos (フィラガサス) 1 回 ▶ (A) 良いものを愛すること
テトス 1:8 むしろ、人をよくもてなし、善を愛し、慎み深く、正しく、敬虔で、自制心があり、

◀ 5359. Philadelpheia ▶ (N) 地名 フィラデルフィア

Definition: Philadelphia, a city of Lydia

Usage: Philadelphia, a city of the Roman province Asia.

◀ 5360. philadelphia (フィラデルフィア) 7 回 ▶ (N) 兄弟愛

◀ 5361. philadelphos (フィラデルファス) 1回▶(A) 兄弟愛の

1 ペテロ 3:8 最後に言います。みな、一つ思いになり、同情し合い、兄弟愛を示し、心の優しい人となり、謙虚でありなさい。

◀ 5362. philandros (フィランドラス) 1回▶(A) 夫を愛する

テトス 2:4 そうすれば、彼女たちは若い女の人に、夫を愛し、子どもを愛し、

◀ 5363. philanthrōpia 2回▶(N)

Definition: love for mankind, kindness

Usage: love of mankind, benevolence.

使 28:2 島の人々は私たちに非常に親切にしてくれた。雨が降り出していて寒かったので、彼らは火をたいて私たちみなを迎えてくれた。

テトス

3:4 しかし、私たちの救い主である神のいつくしみと人に対する愛が現れたとき、

◀ 5364. philanthrōpós 1回▶ (A) Definition: humanely, kindly

Usage: humanely, kindly.

使 27:3 翌日、私たちはシドンに入港した。ユリウスはパウロを親切に扱い、友人たちのところへ行って、もてなしを受けることを許した。

◀ 5365. philarguria (フェラールグリア) 1回▶(N) お金への愛、金銭欲

1 テモ 6:10 金銭を愛することが、あらゆる悪の根だからです。ある人たちは金銭を追い求めたために、信仰から迷い出て、多くの苦痛で自分を刺し貫きました。

◀ 5366. philarguros (フィラールグラス) 2回▶(A) お金を愛する、金銭欲のある

ルカ 16:14 金銭を好むパリサイ人たちは、これらすべてを聞いて、イエスをあざ笑っていた。

第2テモ 3:2 そのときに人々は、自分だけを愛し、金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒瀆し、両親に従わず、恩知らずで、汚れた者になります。

◀ 5367. philautos (フィラウタス) 1回 ▶ (A) Definition: loving oneself

Usage: self-loving, selfish.

第2テモ 3:2 そのときに人々は、自分だけを愛し、金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒瀆し、両親に従わず、恩知らずで、汚れた者になります。

◀ 5368. phileó (フィレオ) 25回 ▶ 愛する、愛情を持った気づかい、大切に
する、キスする

◀ 5369. philédonos (フィレイダナス) 1回 ▶ (A) 快樂を愛する

二テモ 3:4 人を裏切り、向こう見ずで、思い上がり、神よりも快樂を愛する者になり、

◀ 5370. philéma 7回 ▶ (N) キス Definition: a kiss

Usage: a kiss.

◀ 5371. Philémón 1回 ▶ (N) 人名 Definition: "kindly", Philemon, a Christian

Usage: Philemon, a Christian man of Colossae.

◀ 5372. Philétos 1回 ▶ (N) 人名

Definition: "worthy of love", Philetus, an erring Christian at Ephesus

Usage: Philetus, a Christian at Rome.

◀ 5373. philia 1 回 ▶ (N) Definition: friendship

Usage: friendship, affection, fondness, love.

ヤコブ

4:4 節操のない者たち。世を愛することは神に敵対することだと分からないのですか。世の友になりたいと思う者はだれでも、自分を神の敵としているのです。

◀ 5374. Philippésios 1 回 ▶ (N) ピリピ人

◀ 5375. Philippi 4 回 ▶ (N) 都市名

◀ 5376. Philippos 37 回 ▶ (N) 人名

◀ 5377. philotheos 1 回 ▶ (A) Definition: loving God

Usage: loving God.

2 テモ

3:4 人を裏切り、向こう見ずで、思い上がり、神よりも快楽を愛する者になり、

◀ 5378. Philologos 1 回 ▶ 人名 (N) Definition: "student, scholar",
Philologus, a Christian

Usage: Philologus, a Roman Christian.

ロマ

16:15 フィロロゴとユリア、ネレウスとその姉妹、またオリンパ、および彼らとともにいるすべての聖徒たちによろしく。

◀ 5379. philoneikia 1 回 ▶ (N) Definition: love of strife Usage: love of
dispute, contention

ルカ 22:24 また、彼らの間で、自分たちのうちでだれが一番偉いのだろうか、という議論も起こった。

◀ 5380. philoneikos 1 回 ▶(A) Definition: fond of strife Usage: strife-loving, contentious.

I コリ 11:16 たとえ、だれかがこのことに異議を唱えたくても、そのような習慣は私たちにはなく、神の諸教会にもありません。

◀ 5381. philoxenia 2 回 ▶(N) Definition: love of strangers Usage: love to strangers, hospitality.

ロマ 12:13 聖徒たちの必要をともに満たし、努めて人をもてなしなさい。

(共) 旅人をもてなすよう努めなさい。

ヘブル 13:2 旅人をもてなすことを忘れてはいけません。そうすることで、ある人たちは、知らずに御使いたちをもてなしました。

◀ 5382. philoxenos 3 回 ▶ (A) Definition: loving strangers

Usage: hospitable, loving strangers.

I テモ 3:2 ですから監督は、非難されるところがなく、一人の妻の夫であり、自分を制し、慎み深く、礼儀正しく、よくもてなし、教える能力があり、

テトス 1:8 むしろ、人をよくもてなし、善を愛し、慎み深く、正しく、敬虔で、自制心があり、

I ペテ 4:9 不平を言わないで、互いにもてなし合いなさい。

◀ 5383. philopróteuó 1 回 ▶(V) Definition: to strive to be first

Usage: I love the chief place, desire preeminence.

III ヨハ 1:9 私は教会に少しばかり書き送りましたが、彼らの中でかしらにな

りたがっているディオテレパスが、私たちを受け入れません。

◀ 5384. philos 29回 ▶ (A) (N) Definition: beloved, dear, friendly

Usage: friendly; subst: a friend, an associate.

◀ 5385. philosophia 1回 ▶ (N) Definition: the love or pursuit of wisdom

Usage: love of wisdom, philosophy, in the NT of traditional Jewish theology.

コロ 2:8 あの空しいだましごとの哲学によって、だれかの捕らわれの身にならないように、注意しなさい。それは人間の言い伝えによるもの、この世のもろもろの霊によるものであり、キリストによるものではありません。

◀ 5386. philosophos 1回 ▶ (N)

Definition: a philosopher

Usage: a philosopher.

使 17:18 エピクロス派とストア派の哲学者たちも何人か、パウロと議論していたが、ある者たちは「このおしゃべりは、何が言いたいのか」と言い、ほかの者たちは「彼は他国の神々の宣伝者のようだ」と言った。パウロが、イエスと復活を宣べ伝えていたからである。

◀ 5387. philostorgos 1回 ▶ (A) Definition: tenderly loving

Usage: tenderly loving, kindly affectionate to.

ロマ 12:10 兄弟愛をもって互いに愛し合い、互いに相手をすぐれた者として尊敬し合いなさい。

◀ 5388. philoteknos (フィラテクナス) 1回 ▶ (A) 子供を愛する

Usage: loving one's children.

テトス 2:4 そうすれば、彼女たちは若い女の人に、夫を愛し、子どもを愛し、

◀ 5389. philotimeomai 3回▶(V)

Definition: to love or seek after honor

Usage: I am zealous, strive eagerly, desire very strongly.

ロマ 15:20 このように、ほかの人が据えた土台の上に建てないように、キリストの名がまだ語られていない場所に福音を宣べ伝えることを、私は切に求めているのです。

Ⅱコリ 5:9 そういうわけで、肉体を住まいとしていても、肉体を離れていても、私たちが心から願うのは、主に喜ばれることです。

Iテサ 4:11 また、私たちが命じたように、落ち着いた生活をし、自分の仕事に励み、自分の手で働くことを名誉としなさい。

@ 名誉としなさい = (共) 努めなさい

◀ 5365. philarguria (フェラールグリア) 1回▶金銭欲

1テモ 6:10 金銭を愛することが、あらゆる悪の根だからです。ある人たちは金銭を追い求めたために、信仰から迷い出て、多くの苦痛で自分を刺し貫きました。

◀ 5369. philédonos (フィレイダナス) 1回▶(A) 快楽を愛する

二テモ 3:4 人を裏切り、向こう見ずで、思い上がり、神よりも快楽を愛する者になり、

◀ 5390. philophronós 1回▶(A)

Definition: kindly

Usage: kindly, in a friendly manner.

使 28:7 さて、その場所の近くに、島の長官でプブリウスという名の人の所有地があった。彼は私たちを歓迎して、三日間親切にもてなしてくれた。

◀ 5361. philadelphos (フィラデルファス) 1回▶(A) 兄弟愛の

1 ペテロ 3:8 最後に言います。みな、一つ思いになり、同情し合い、兄弟愛を示し、心の優しい人となり、謙虚でありなさい。

■ 新改訳聖書で「愛」と訳されているアガペ、アガパオ以外の言葉

◀ 5360. philadelphia (フィラデルフィア) 7回▶ (N) 兄弟愛

ロマ 12:10 兄弟愛をもって互いに愛し合い、互いに相手をすぐれた者として尊敬し合いなさい。

@愛は補足

I テサ 4:9 兄弟愛については、あなたがたに書き送る必要がありません。あなたがたこそ、互いに愛し合うことを神から教えられた人たちで、(兄弟愛=フィラデルフィア。愛し=アガパオ

ヘブル 13:1 兄弟愛をいつも持っていなさい。

I ペテ 1:22 あなたがたは真理に従うことによって、たましいを清め、偽りのない兄弟愛を抱くようになったのですから、きよい心で互いに熱く愛し合いなさい。

II ペテ 1:7 敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。 愛=(26)

◀ 4698. splagchnon (スプラーグハン) 11回▶ 憐み、内臓

II コリ 6:12 あなたがたに対する私たちの愛の心は、狭くならないです。むしろ、あなたがたの思いの中で狭くなっているのです。

II コリ 7:15 テトスは、あなたがたがみな従順で、どのように恐れおののきながら自分を迎えてくれたかを思い起こし、あなたがたへの愛情をますます深めています。

ピリ 1:8 私がキリスト・イエスの愛の心をもって、どんなにあなたがたすべてを慕っているか、その証しをしてくださるのは神です。

ピリ 2:1 ですから、キリストにあって励ましがあ、愛の慰めがあ、御霊の交わりがあ、愛情とあわれみがあるなら、愛=アガペ 愛情=スプレーグハン

◀ 4375. prophilés (プロスフィレイス) 1 回▶

ピリ 4:8 最後に、兄弟たち。すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて評判の良いことに、また、何か徳とされることや称賛に値することがあれば、そのようなことに心を留めなさい。

◀ 3628. oiktirmos (オイクトルマース) 5 回▶

コロ 3:12 ですから、あなたがたは神に選ばれた者、聖なる者、愛されている者として、深い慈愛の心、親切、謙遜、柔和、寛容を着なさい。

◀ 2151. eusebeó (ユセベオ) 2 回▶～に対して敬虔さを示す

I テモ 5:4 もし、やもめに子どもか孫がいるなら、まずその人たちに、自分の家の人に敬愛を示して、親の恩に報いることを学ばせなさい。それが神の御前に喜ばれることです。

(参考)

使 17:23 道を通りながら、あなたがたの拝むものをよく見ているうちに、『知られていない神に』と刻まれた祭壇があるのを見つけたからです。そこで、あなたがたが知らずに拝んでいるもの、それを教えましょう。 拝んでいる=ユセベオ

(ちなみに上の「拝むもの」と訳されているのは◀ 4574. sebasma (セバスマ) 2 回▶)

II テサ 2:4 不法の者は、すべて神と呼ばれるもの、礼拝されるものに対抗して自分を高く上げ、ついには自分こそ神であると宣言して、

神の宮に座ることになります。

◀ 5366. philarguros (フィラールグラス) 2回▶(A) お金を愛する、金銭欲のある

第2テモ 3:2 そのときに人々は、自分だけを愛し、金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒瀆し、両親に従わず、恩知らずで、汚れた者になります。

◀ 5367. philautos (フィラウタス) 1回▶(A) 自己愛の

第2テモ 3:2 そのときに人々は、自分だけを愛し、金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒瀆し、両親に従わず、恩知らずで、汚れた者になります。

◀ 5358. philagathos (フィラガサス) 1回▶(A) 良いものを愛すること

テトス 1:8 むしろ、人をよくもてなし、善を愛し、慎み深く、正しく、敬虔で、自制心があり、

◀ 5388. philoteknos (フィラテクナス) 1回▶(A) 子供を愛する

Usage: loving one's children.

テトス 2:4 そうすれば、彼女たちは若い女の人に、夫を愛し、子どもを愛し、

◀ 5362. philandros (フィランドラス) 1回▶(A) 夫を愛する

テトス 2:4 そうすれば、彼女たちは若い女の人に、夫を愛し、子どもを愛し、

◀ 866. aphilarguros (アフィラールグラス) 2回▶(A) 金銭欲

ヘブル 13:5 金銭を愛する生活をせずに、今持っているもので満足しなさい。主ご自身が「わたしは決してあなたを見放さず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

(別の個所は訳出されていない)

第1テモ 3:3 酒飲みでなく、乱暴でなく、柔和で、争わず、金

錢に無欲で、

◀ 5373. philia (フィリア) 1回▶(N) 友情

ヤコブ 4:4 節操のない者たち。世を愛することは神に敵対することだと分からないのですか。世の友になりたいと思う者はだれでも、自分を神の敵としているのです。

@ (ギ) コスモスとの友情

◀ 4184. polusplagchnos (パルース プラグ kh ナース) 1回▶(A) 慈愛に富んだ very compassionate

ヤコブ 5:11 見なさい。耐え忍んだ人たちは幸いだと私たちは思います。あなたがたはヨブの忍耐のことを聞き、主によるその結末を知っています。主は慈愛に富み、あわれみに満ちておられます。

★★★一見違うかもしれないと感じるが「アガペ、アガパオ」が使われているもの (念のため)

ピリ 2:2 あなたがたは同じ思いとなり、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、思いを一つにして、私の喜びを満たしてください。 愛＝アガペ (26)

II テモ 4:10 デマスは今の世を愛し、私を見捨ててテサロニケに行ってしまいました。また、クレスケンスはガラテヤに、テトスはダルマティアに行きました。(25)

ピレモ 1:16 もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、愛する兄弟としてです。特に私にとって愛する兄弟ですが、あなたにとっては、肉においても主にあっても、なおのことそうではありませんか。(27)

ヘブル 1:9 あなたは義を愛し、不法を憎む。それゆえ、神よ、あなたの神は、喜びの油で、あなたに油を注がれた。あなたに並ぶだれよりも多く。」

I ペテ 2:17 すべての人を敬い、兄弟たちを愛し、神を恐れ、王を敬いなさい。

I ペテ 5:14 愛の口づけをもって互いにあいさつを交わしなさい。キリストにあるあなたがたすべての者に、平安がありますように。 (口づけ ◀ 5370. philéma (フィレマ) 7回 ▶ (N) 口づけ)

II ペテ 2:15 彼らは正しい道を捨てて、さまよっています。ベオルの子バラムの道に従ったのです。バラムは不義の報酬を愛しましたが、

I ヨハ 2:10 自分の兄弟を愛している人は光の中にとどまり、その人のうちにはつまずきがありません。

I ヨハ 2:15 あなたは世も世にあるものも、愛してはいけません。もしだれかが世を愛しているなら、その人のうちに御父の愛はありません。(愛して=25. 愛=26)

I ヨハ 3:10 このことによつて、神の子どもと悪魔の子どもの区別がはっきりします。義を行わない者はだれであれ、神から出た者ではありません。兄弟を愛さない者もそうです。

I ヨハ 3:14 私たちは、自分が死からいのちに移ったことを知っています。兄弟を愛しているからです。愛さない者は死のうちにとどまっています。

I ヨハ 4:20 神を愛すると言いながら兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはで

きません。

I ヨハ 4:21 神を愛する者は兄弟も愛すべきです。私たちはこの命令を神から受けています。

▲agapais▲愛餐

ユダ 1:12 この人たちは、あなたがたの愛餐のしみです。恐れる心もなく一緒に食事をしますが、自分を養っているだけです。彼らは、風に吹き流される雨無し雲、枯れに枯れて根こそぎにされた、実りなき秋の木、